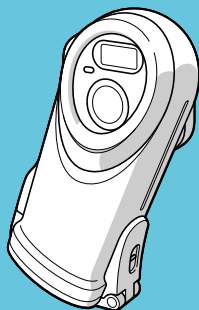
SONY®

3-078-724-01 (2)

取扱説明書

サイバーショット

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別紙の「防水仕様について」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Cyber-shot U

DSC-U60

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

6〜10ページの注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、バッテリーチャージャーのプラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラ本体やバッテリーチャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにテクニカルインフォメーションセンターまでご連絡ください。

万一、異常が起きたら

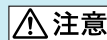
変な音・においがしたら、煙が出たら

❶ 電源を切る
❷ 電池をはずす
❸ テクニカルインフォメーションセンターに連絡する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

指挟み

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

指示

こんなことができます

静止画を撮る

→ 24～32ページ

静止画を見る

→ 42～48ページ

いろいろな静止画を撮る

→ 32～41ページ

パソコンに取り込んで見る

→ 55～82ページ

水中で撮る

→ 35～36ページ

防水性能について

→ 11ページ、別紙「防水仕様について」

動画を撮る／見る

→ 49～51ページ

困ったときは

→ 83～92ページ

目次

困ったときは

その他

用語の解説／索引

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

運転中に使用しない

- 自動車、オートバイなどの運転をしながら撮影／再生をしたり、液晶画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- 自動車内に置くときは、急ブレーキなどで本体が落下してブレーキ操作の妨げにならないように充分にご注意ください。

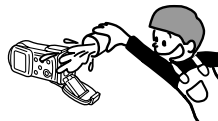
撮影時は周囲の状況に注意をはらう

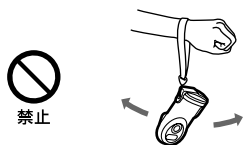
周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。特にフラッシュや液晶画面には高電圧回路が内蔵されており危険ですので、絶対に自分で分解しないでください。
内部の点検や修理はテクニカルインフォメーションセンターにご依頼ください。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。カメラの防水ふた内部に水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。バッテリーチャージャーに水がかかったときは、コンセントを抜いてください。
いずれの場合もテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

持ち運びのときに振り回さない

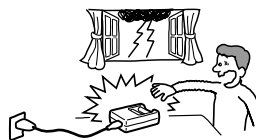
ハンドストラップをご使用の場合は、本体を振り回さないようにご注意ください。本体に衝撃を与えたり、ドアにはさまったりすると故障やけがの原因となります。持ち運ぶ際には手で押さえるか、ポケットに入れるなどして本体を固定してください。

自動車内の運転者に向けてフラッシュを使用しない

運転者に向けてフラッシュを使用すると目がくらみ、運転不可能になり、事故を起こす原因になりますので、使用しないでください。

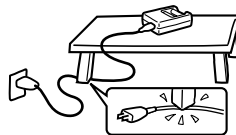
可燃性／爆発性ガスのある場所でフラッシュを使用しない

可燃性ガスおよび爆発性ガスなどが大気中に存在するおそれがある場所では使用しないでください。引火、爆発の原因になります。

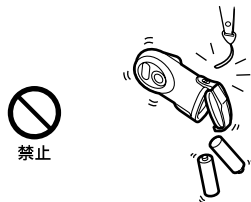
雷が鳴りだしたら、使用しない

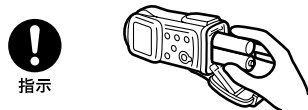
遠くで雷が鳴りだしたときは、落雷による感電を避けるため、バッテリーチャージャーにはさわらないでください。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

下記の注意事項を守らないと**けが**や**視力障害**を起こしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

電池やハンドストラップは正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。また、ハンドストラップに、傷などがないか使用前に確認してください。

電池を取りはずすときは、電池に手をそえる

電池がとび出すことがあり、落ちるとけがの原因になることがあります。

フラッシュを至近距離で人に向けない

フラッシュを人の目の前（特に乳幼児）に近づけて使用しないでください。目の近くで発光させると視力障害を起こす危険があります。特に乳幼児を撮影するときには1m以上離れてください。

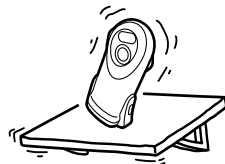
"メモリースティック"の挿入口や端子などから、内部に金属類や燃えやすい物などの異物を差し込んだり、落とし込んだりしない

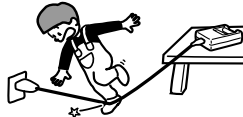
火災・感電の原因となります。

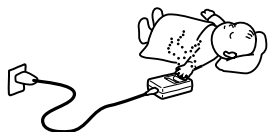
幼児の手の届かない場所に置く

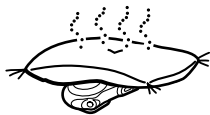
"メモリースティック"、電池の挿入口、防水ふたなどに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。

コード類は正しく配置する

電源コードやパソコン接続コードなどは足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。

通電中のバッテリーチャージャー、充電中の電池に長時間ふれない

温度が相当上がることがあります。長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

カメラやバッテリーチャージャーを布団などでおおった状態で使わない

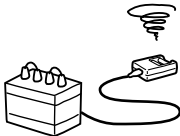
熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

レンズや液晶画面に衝撃を与えない

レンズや液晶画面は強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所ではバッテリーチャージャーを使わない

上記のような場所で使うと、火災や感電の原因となることがあります。

指定以外の電池やバッテリーチャージャーを使わない

火災やけがの原因となることがあります。

ぬれた手で電池やバッテリーチャージャーをさわらない

感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源をはずす

長期間使用しないときは電源コードや電池をはずして保管してください。火災の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

⚠注意 電池についての安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂による大けがややけど、火災などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

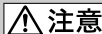
本機には、ニッケル水素電池を使用します。

⚠危険

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解しない。電子レンジやオーブンなどで加熱しない。コインやヘヤーピン、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートする事があります。
- 火のそばや炎天下、高温になった車の中などで放置したり、充電したりしない。
- ニッケル水素電池は指定された充電器以外で充電しない。
- ニッケル水素電池は水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体で濡れた状態で充電したり、使用しない。

⚠警告

- 指定された種類の電池を使用する。
- ハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり落下させるなどの強い衝撃を与えない。
- 水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体で濡らさない。
- 外装シールを剥がしたり、傷つけたりしないでください。外装シールの一部またはすべてを剥がしてある電池や破れのある電池は、絶対に使用しないでください。

⚠注意

- カメラ本体またはバッテリーチャージャーに入れるときは、＋と－の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長期間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類や容量の違う電池を混ぜて使わない。

お願い

Ni-MH
ニッケル
水素電池

ニッケル水素電池はリサイクルできます。不要になった電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店については

社団法人電池工業会　ホームページ：http://www.baj.or.jp/を参照してください。

お使いになる前に

防水性能について

- 本機はJIS C 0920防水保護等級6級*、7級**に適合しています。水しぶきがかかる場所や、深さ1.5mまでの水中でもご使用になれます。

* いかなる方向からの水（常温の真水）の直接噴流を受けても、内部に水が入らないこと。

** 常温の真水で水深1mの位置に本機を静かに沈めた状態で、約30分間水中に放置しておいても本体内部に浸水しないこと。

- 以下の場所でご使用になれます。
  - 深さ1.5mまでの水中（海、プール）
  - 浜辺
  - 川辺
  - プールサイド
  - スキーゲレンデ
  - 雨の中　など
- 以下の場所では使用しないでください。
  - 高い水圧のかかる場所
  - 温泉
  - 風呂　など

使用上のご注意

- 水中や水気のある場所で本機をお使いになる前には、Oリングと本体内側のOリング接合面の点検を行ってください。
- 石けん、洗剤、入浴剤などの入った水や30℃を超える温水に本機を浸さないでください。
- 水中や水気のある場所では防水ふたを絶対に開けないでください。防水ふたが不用意に開いてしまうのを防ぐため、ロックスイッチをかけてください。
- 本機は水に浮きません。
- 防水ふたを開ける前には、本体についた砂を洗い流し、水分をよく拭き取ってください。
- 万一防水ふた内部に水漏れした形跡が確認された場合は、ただちにご使用を中止しテクニカルインフォメーションセンター（裏表紙）にご相談ください。
- 取り扱い上の不注意によりカメラ内部に水や異物が入り、故障または修理不能となった場合の責任は負いかねますのでご注意ください。
- ご使用になる環境はそれぞれ異なりますので全ての状況での防水性能を保証するものではありません。

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。

撮影内容の補償はできません

万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や破損にそなえ、必ず予備のデータコピーをおとりください。

画像の互換性について

- 本機は、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格“ Design rule for Camera File system ”に対応しています。
- 本機で撮影した画像の他機での再生、他機で撮影／修正した画像の本機での再生は保証いたしません。

“メモリースティック”について

本機は内ふたを開けると電源が切れます。“メモリースティック”のアクセスランプが点灯しているときは、内ふたを開けないでください。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本機に振動や衝撃を与えないでください！

誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、“メモリースティック”が使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。

液晶画面、液晶ファインダー（搭載機種のみ）およびレンズについて

- 液晶画面や液晶ファインダーは有効画素99.99％以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されませんので安心してお使いください。
- 液晶画面や液晶ファインダー、レンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。
- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。

フラッシュ表面の汚れは取り除いてご使用ください！

発光による熱でフラッシュ表面の汚れが変色したり、貼り付いたりしてフラッシュが充分な量を発光できない場合があります。

湿気にご注意ください！

結露が起きたときは、結露を取り除いてからご使用ください（98ページ）。

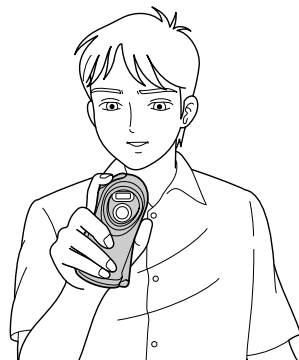
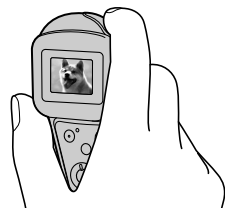
使用する場所について

強力な電波を出すところや放射線のある場所で使わないでください。正しく撮影・再生ができないことがあります。

本書中の画像について

画像の例として本書に掲載している写真はイメージです。本機を使って撮影したものではありません。

商標について

- " Memory Stick "(" メモリースティック ")、MEMORY STICK ™ および" MagicGate Memory Stick "(" マジックゲート メモリースティック ") はソニー株式会社の商標です。
- " メモリースティック　デュオ "および " MEMORY STICK DUO "はソニー株式会社の商標です。
- " メモリースティック　PRO "および " MEMORY STICK PRO "はソニー株式会社の商標です。
- " マジックゲート "および " MAGICGATE "はソニー株式会社の商標です。
- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh、Mac OS、iBookおよびPower Macは、Apple Computer, Inc.の登録商標または商標です。
- PentiumはIntel Corporationの登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していません。

本機で撮影するときは、フラッシュやレンズを指でふさがないようご注意ください。

画面が水平になるよう液晶画面でご確認ください。

各部のなまえ

カッコ内の数字はページ数です。

フラッシュ（31）

セルフタイマーランプ（31）

レンズ

ハンドストラップ取付部

RESETボタン（83）

内ふた

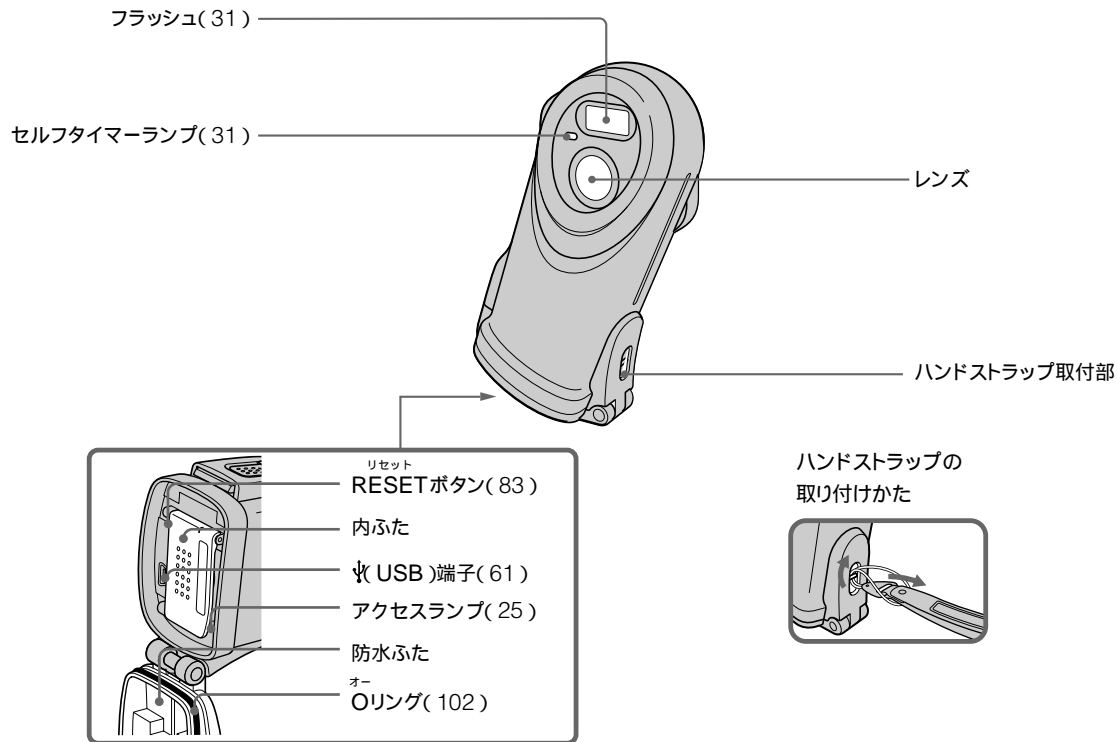
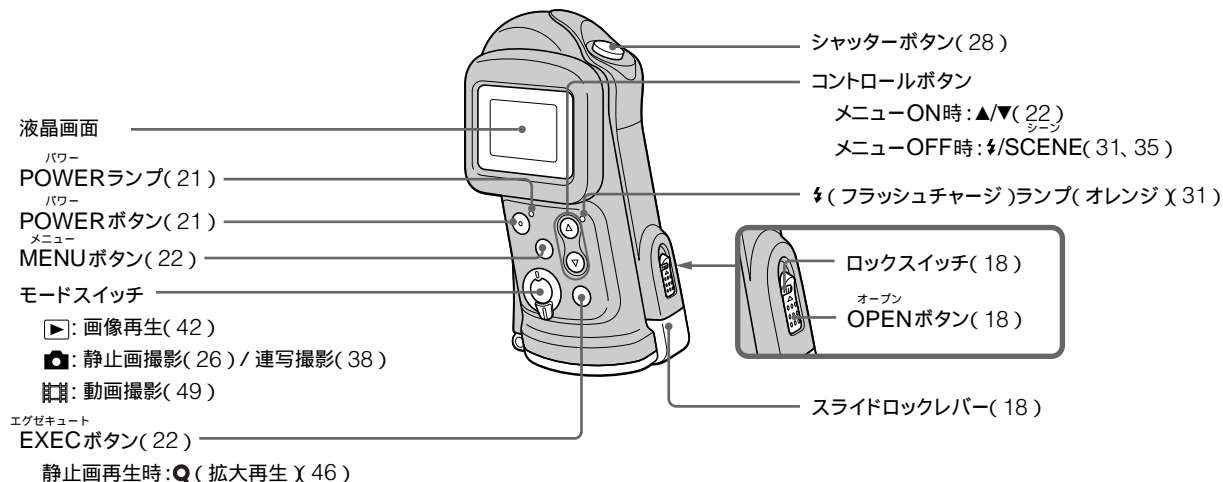
(USB) 端子（61）

アクセスランプ（25）

防水ふた

Oリング（102）

ハンドストラップの
取り付けかた

シャッターボタン（28）
コントロールボタン
メニューON時：▲/▼（22）
シーン
メニューOFF時：ϟ/SCENE（31、35）
ϟ（フラッシュチャージ）ランプ（オレンジ）（31）
ロックスイッチ（18）
オープン
OPENボタン（18）
スライドロックレバー（18）
液晶画面
パワー
POWERランプ（21）
パワー
POWERボタン（21）
メニュー
MENUボタン（22）
モードスイッチ
▶：画像再生（42）
：静止画撮影（26）／連写撮影（38）
：動画撮影（49）
エグゼキュート
EXECボタン（22）
静止画再生時：Q（拡大再生）（46）

電池を準備する

本機は以下の電池でお使いいただけます。

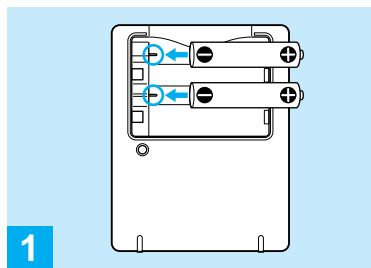
使用できる電池

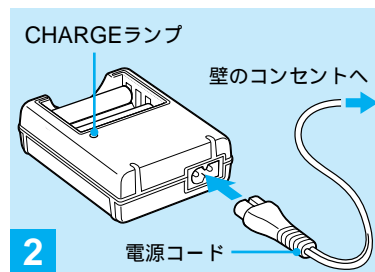
単4形ニッケル水素電池2本
「NH-AAA-DA」　2本（付属）
「NH-AAA-2DA」2本パック（別売り）

使用できない電池

— マンガン電池、リチウム電池、ニカド電池、アルカリ電池

上記の電池を使用した場合、電池の特性上、電圧低下等で動作性能保証ができないことがあります。また、電池残量表示については正しく表示されません。

電池を充電する

1 → バッテリーチャージャー（付属）にニッケル水素電池を⊕、⊖の表示に従って正しく入れる

- ニッケル水素以外の電池は使用できません。またソニー製以外のニッケル水素電池をお使いの場合の動作保証はいたしません。
- 付属のニッケル水素電池を初めてご使用になる前には必ず充電してください。
- バッテリーチャージャーは、お手近なコンセントを使用してください。
- 充電が完了して、CHARGEランプが消えても電源から遮断されていません。使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。

2 → 電源コードをバッテリーチャージャーと壁のコンセントにつなぐ

充電が始まり、CHARGEランプが点灯します。CHARGEランプが消灯したら充電が完了です。
付属のバッテリーチャージャーについては102ページをご覧ください。

- 充電が終わったら、電源コードをコンセントから抜いてください。
ニッケル水素電池をバッテリーチャージャーから取り出してください。

充電時間について

ニッケル水素電池	充電時間
NH-AAA-DA×2（付属）	約6時間

使い切ったニッケル水素電池を温度25℃の環境で、付属のバッテリーチャージャーで充電したときの時間です。

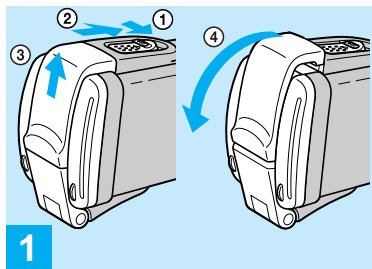
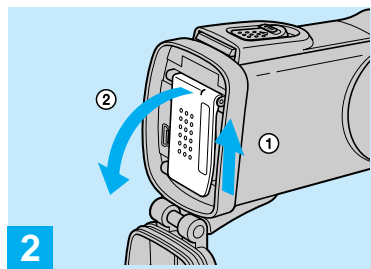
- 約6時間で充電が終了します。
  CHARGEランプは6時間以上点灯することがありますが故障ではありません。
- 別売りのスタミナ急速充電キットに付属のバッテリーチャージャーBC-CSQ2をお使いになると、充電時間が短縮できます。

  充電時間
  単4形ニッケル水素電池2本の場合：
  約1時間25分
  単4形ニッケル水素電池4本の場合：
  約2時間50分

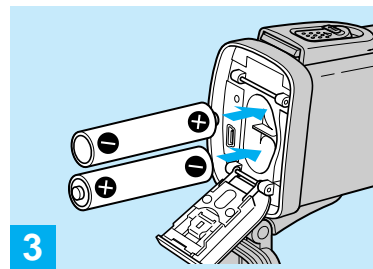
ニッケル水素電池について

- ニッケル水素電池の電極が汚れていると、正常に充電できない場合があります。電池の電極とバッテリーチャージャーの端子の汚れを、時々乾いた布などで拭き取ってください。
- ニッケル水素電池を持ち運ぶときは、必ず付属の電池ケースに入れてください。金属類で＋、－がショートすると発熱、発火の危険があります。
- お買い上げ時や、長い間使わなかったニッケル水素電池は充分充電されないことがあります。これは電池の特性によるもので故障ではありません。この場合、充電して使用することを数回繰り返すと、正常な状態に戻ります。
- ニッケル水素電池は、使用しないときでも自然放電により容量が低下します。ご使用になる直前に充電することをおすすめします。
- ニッケル水素電池は容量が残っている状態で繰り返し充電されるとメモリー効果*が発生して早めに電池残量警告が表示されることがあります。最後まで使い切ってから充電することで正常な状態に戻ります。

  * メモリー効果：一時的に電池の容量が低下したような特性を示す現象
- 電池の外装シールを剥がしたり、傷つけたりしないでください。外装シールの一部またはすべてを剥がしている電池や破れのある電池は絶対に使用しないでください。電池の液漏れ、発熱、破裂の原因となり、やけどやけがをする恐れがあります。またバッテリーチャージャーの故障の原因となります。

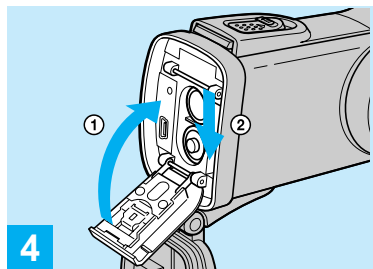
電池を入れる

→ **ロックスイッチとOPENボタンを矢印の方向にずらし、防水ふたを開ける**

防水ふたを手前に開きます。

→ **内ふたを矢印の方向にずらして開ける**

矢印の方向にスライドさせると内ふたが手前に開きます。

→ **電池を入れる**

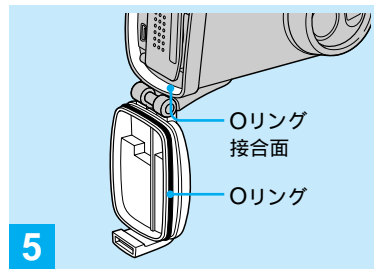
電池の＋極、－極を電池ケース内部の＋、－の表示に合わせて入れます。

- **防水ふたを開ける前には、本体についた砂を洗い流し、水分をよく拭き取ってください。**
- 水中や水気のある場所では防水ふたを絶対に開けないでください。カメラ内部に水が入ると故障の原因となります。
- 暖かい室内から寒い屋外へ出た直後などでは、カメラ内部と外気の圧力差により防水ふたが開きづらい場合があります。

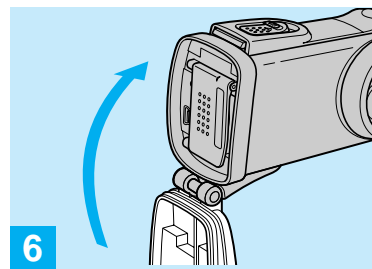
- 電池の電極と本機の内ふたの電池端子部は時々乾いた布などで汚れを拭き取ってください。電極や電池端子部に皮脂などの汚れがあると、動作時間が極端に短くなることがあります。

➡ 内ふたを閉め矢印の方向にずらしてロックする

内ふたで電池を押し込みながら閉じます。内ふたをしっかりと閉じてください。

電池を取り出すには
手順**1**～**2**を行い、電池を取り出してください。

- 本機の内ふたを開閉するときは電池が落下しないようにご注意ください。

➡ 防水ふたの点検をする

OリングとOリング接合面にキズや変形などの異常や、ゴミや髪の毛などの付着がないか点検します。

- OリングやOリング接合面に異常があったり、ゴミなどが付着していると、防水性が損なわれます。カメラ内部に水が入ると修理不能となる場合もありますので、ご注意ください。
- Oリングにキズや変形などがある場合、また異常がなくても２年程度使用したら、新しいものと交換してください（104ページ）。

➡ 防水ふたを閉める

防水ふたを閉じ、スライドロックレバーを「カチッ」と音がするまでずらして戻します。

- 水中や水気のある場所で本機をお使いになるときは、ロックスイッチ（15ページ）をずらしてロックしてください。防水ふたが不用意に開いてしまうのを防ぎます。

電池残量表示（ニッケル水素電池使用時）

電池の残量が少なくなると、電池残量表示は以下のように表示されます。

残量表示	電池残量の目安
	充分あります。
	少なくなりました。
	撮影、再生がもうすぐできなくなります。
	充電済みのニッケル水素電池と交換するか、充電してください。（警告表示が点滅します）

- 画面表示をオフにしているときはメニューの［□］で［画面表示］を［入］にしてください。
- 使用状況や充電状態、環境によって正しく表示されないことがあります。
- USB接続時は電池残量は表示されません。

電池の使用時間と撮影／再生可能枚数

次の表は［フォーカス］が［オート］のときに、充電した電池で温度25°Cの環境で使用した場合の目安です。また、撮影／再生枚数は付属の“メモリースティック”を交換しながら撮影／再生したときの目安です。ご使用の状況によって記載より少ない数値になる場合があります。

静止画を撮影するとき

標準撮影[1)]

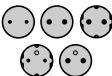
画像サイズ	NH-AAA-DA×2（付属）		
	LCDライト	撮影枚数	使用時間
2.0M	入	約140枚	約70分
	切	約160枚	約80分
VGA	入	約140枚	約70分
	切	約160枚	約80分

1) 以下の設定で撮影
– 30秒ごとに1回撮影
– 2回に1度、フラッシュを発光
– 10回に1度、電源を入／切する

静止画を再生[2)]するとき

画像サイズ	NH-AAA-DA×2（付属）	
	再生枚数	使用時間
2.0M	約3000枚	約150分
VGA	約3000枚	約150分

2) 約3秒ごとに1枚表示画面を順番に再生。上記はLCDライトを［入］にしたときの数値です。

動画を撮影するとき[3)]

NH-AAA-DA×2（付属）		
	LCDライト	使用時間
連続撮影時	入	約80分
	切	約90分

3) 本機の動画撮影時間は最大15秒です。

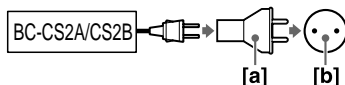
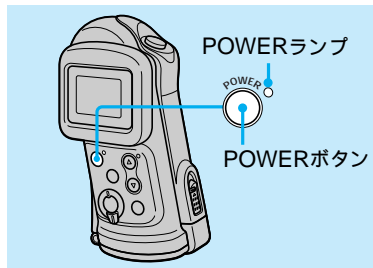
- 下記の場合は、使用時間と撮影／再生枚数が表示より少なくなることがあります。
  – 周囲が低温のとき
  – フラッシュを使用しているとき
  – 電源の入／切を繰り返したとき
  – ［LCDライト］が［入］になっているとき
  – 使用回数を重ねたり、時間が経過して、電池の容量が低下したとき（101ページ）

海外で使うときは

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	変換プラグアダプター
主に北米など	不要です。
主にヨーロッパなど	

本機は海外でもお使いになれます。

- 付属のバッテリーチャージャーは、全世界の電源（AC100V～240V・50/60Hz）でお使いいただけます。
- 下図のように、付属のバッテリーチャージャーを差し込む変換プラグアダプター **[a]** が必要になる場合があります。

- 変換プラグアダプター **[a]** ／電源コンセント **[b]** の形状は旅行先の国や地域によって異なります。あらかじめ、旅行代理店などでおたずねの上、ご用意ください。
- 電子式変圧器（トラベルコンバーター）はご使用にならないでください。故障の原因となります。

電源を入れる／切る

➡ POWERボタンを押して、電源を入れる

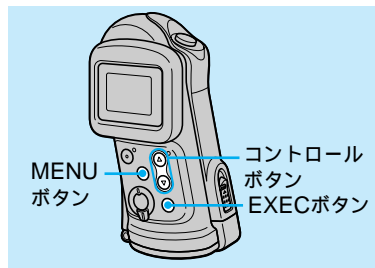
POWERランプが緑色に点灯し電源が入ります。初めて電源を入れたときは、表示設定画面が表示されます（22ページ）。

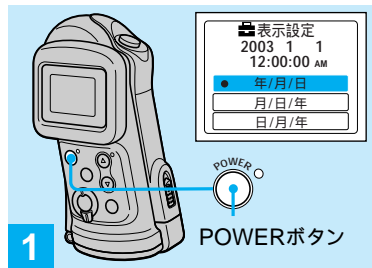
電源を切る

POWERボタンを再び押すと、POWERランプが消え、電源が切れます。

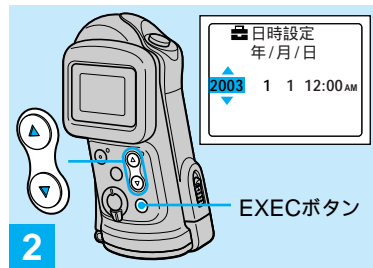
オートパワーオフ機能

本機の電源を入れたまま約3分間操作をしないと、電池の消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。ただし、USBケーブルでパソコンと接続中はオートパワーオフ機能は働きません。

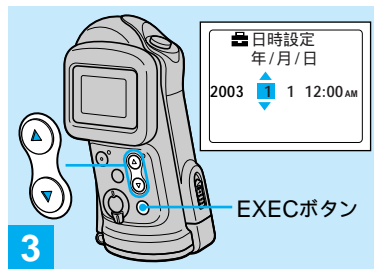
ボタン操作について

本機の設定を変えるときは、液晶画面にメニューを表示させ、コントロールボタンを使って操作します。
各項目を設定するときは、MENUボタンを押してメニューを表示し、コントロールボタンの▲/▼を押して項目や設定を選び、EXECボタンを押して決定します。MENUボタンを押すとメニューが消えます。

日付／時刻を合わせる

➡ POWERボタンを押して、電源を入れる

POWERランプが緑色に点灯し、表示設定画面が表示されます。

- 一度設定した日付、時刻を合わせ直すときは、MENUボタンを押し、［ ］の［時計設定］、［日時設定］を選んでから（95ページ）、手順3を行ってください。設定が終わったら、MENUボタンを押して時計設定画面を消してください。
- この操作はモードスイッチがどの位置でも操作できます。

➡ コントロールボタンの▲/▼で年月日の表示順を選び、EXECボタンを押す

表示は、［年/月/日］、［月/日/年］、［日/月/年］の中から選びます。表示順が決定されると、日時設定画面が表示されます。

- 時計の設定を記憶しておくための充電式ボタン電池の残量が少なくなると（98ページ）、自動的に表示設定画面が表示されます。このときは手順2以降を行って日付、時刻を設定し直してください。

➡ コントロールボタンの▲/▼で設定する数値を選び、EXECボタンを押す

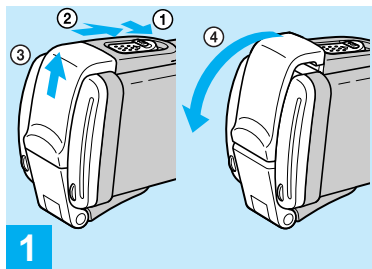
設定する項目の上下に▲/▼が表示されます。
数値が確定され、次の項目に移ります。手順3を繰り返して、すべての項目を設定してください。

➡ コントロールボタンの▲で［実行］を選び、EXECボタンを押す

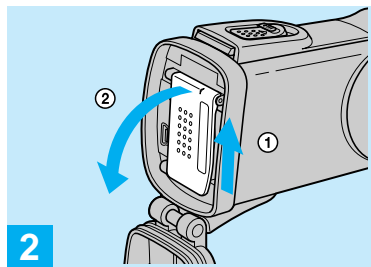
日付／時刻が設定され、時計が動き始めます。

- 手順2で［日/月/年］を選んだときは、24時間表示で設定してください。

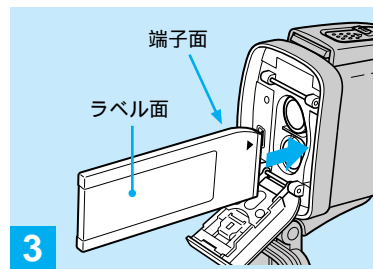
- 日付／時刻設定を間違えたときは、手順4で［キャンセル］を選ぶと表示設定画面が表示されます。もう一度手順2以降を行ってください。
- 中止するときは、コントロールボタンで［キャンセル］を選び、EXECボタンを押します。

“メモリースティック”を入れる／取り出す

➡ **ロックスイッチとOPENボタンを矢印の方向にずらし、防水ふたを開ける**

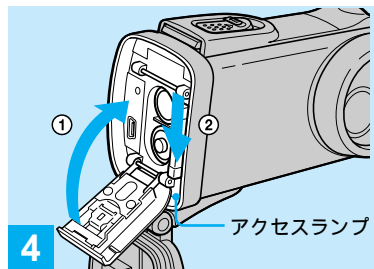
防水ふたを手前に開きます。

- **防水ふたを開ける前には、本体についた砂を洗い流し、水分をよく拭き取ってください。**
- 水中や水気のある場所では防水ふたを絶対に開けないでください。カメラ内部に水が入ると故障の原因となります。
- 暖かい室内から寒い屋外へ出た直後などでは、カメラ内部と外気の圧力差により防水ふたが開きづらい場合があります。

➡ **内ふたを矢印の方向にずらして開ける**

矢印の方向にスライドさせると内ふたが手前に開きます。

- “メモリースティック”については99ページをご覧ください。

➡ **“メモリースティック”を入れる**

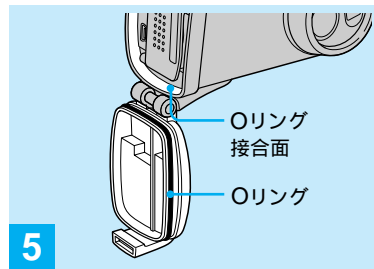
“メモリースティック”を図の向きで「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

- “メモリースティック”を入れるときは、奥まできちんと差し込んでください。正しく差し込まないと正常な記録、再生ができないことがあります。
- 本機の内ふたを開閉するときは電池が落下しないようにご注意ください。

➡ 内ふたを閉め矢印の方向にずらしてロックする

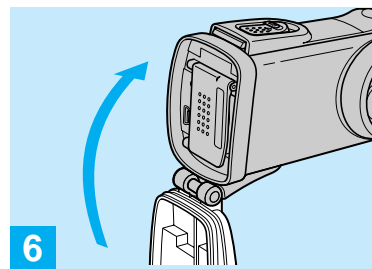
内ふたをしっかりと閉じてください。

“ メモリースティック ”を取り出すには

手順1～2を行い、“ メモリースティック ”を1回押して取り出してください。このとき“ メモリースティック ”が落下しないようにご注意ください。

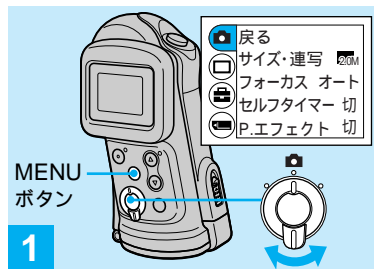
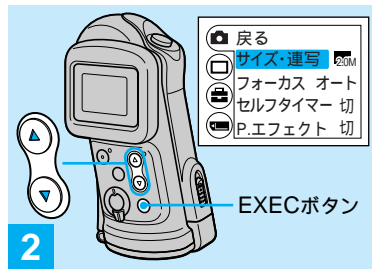
- **アクセスランプが点灯しているときは、画像の記録中、読み出し中です。このとき、絶対に内ふたを開けたり、電源を切ったりしないでください。データが壊れることがあります。**

➡ 防水ふたの点検をする

OリングとOリング接合面にキズや変形などの異常や、ゴミや髪の毛などの付着がないか点検します。

- OリングやOリング接合面に異常があったり、ゴミなどが付着していると、防水性が損なわれます。カメラ内部に水が入ると修理不能となる場合もありますので、ご注意ください。
- Oリングにキズや変形などがある場合、また異常がなくても２年程度使用したら、新しいものと交換してください（104ページ）。

➡ 防水ふたを閉める

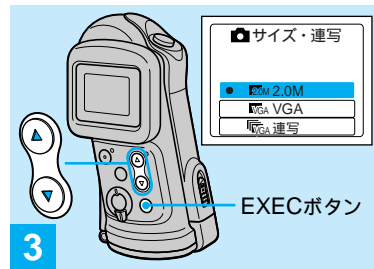
防水ふたを閉じ、スライドロックレバーを「カチッ」と音がするまでずらして戻します。

- 水中や水気のある場所で本機をお使いになるときは、ロックスイッチ（15ページ）をずらしてロックしてください。防水ふたが不用意に開いてしまうのを防ぎます。

静止画の画像サイズを決める

➡ **モードスイッチを「📷」にしてから電源を入れ、MENUボタンを押す**

メニューが表示されます。

➡ **コントロールボタンの▲で[📷]を選び、EXECボタンを押す。**
コントロールボタンの▲/▼で[サイズ・連写]を選び、EXECボタンを押す

画像サイズが表示されます。

・画像サイズについては、27ページをご覧ください。

➡ **コントロールボタンの▲/▼で希望の画像サイズを選び、EXECボタンを押す**

画像サイズが確定します。
設定が終わったら、MENUボタンを押してください。画面からメニューの表示が消えます。

・ここで選んだ画像サイズの設定は、電源を切った後も保持されます。

画像サイズについて

撮影目的に合わせて、画像のサイズ（画素数）を選ぶことができます。画像サイズを大きくすると画像はきれいになりますが、データ容量が大きくなり、"メモリースティック"に記録できる枚数は少なくなります。
目的に合った画像サイズをお選びください。

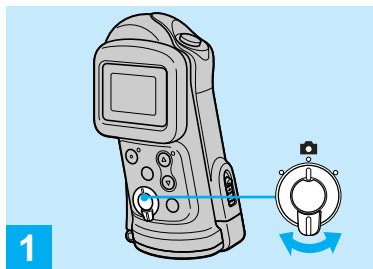
画像サイズは下記の2種類から選ぶことができます。
用途例は、その画像サイズに適する最小画素数の場合です。

画像サイズ		用途例
2.0M	1632×1224	A5プリント
VGA	640×480	ホームページ作成

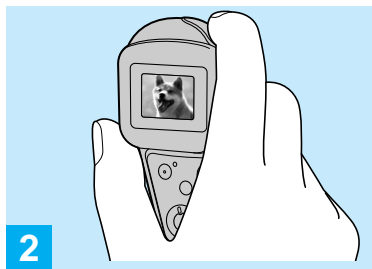
"メモリースティック"1枚に記録できる枚数

（単位：枚）

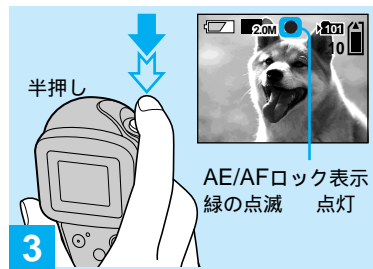
容量 / 画像サイズ	8MB	16MB	32MB	64MB	128MB	MSX -256	MSX -512	MSX -1G
2.0M	14	29	60	122	245	445	906	1851
VGA	80	161	326	656	1316	2380	4840	9880

- 当社従来モデルで撮影された画像を再生したとき、実際の画像サイズと異なる表示となる場合があります。
- 本機の液晶画面で見るときはどの画像サイズでも同じ大きさに見えます。
- 記録枚数は、撮影状況によって数値と異なる場合があります。
- 撮影残枚数が9999より多いときは>9999と表示されます。

➡ モードスイッチを「📷」にして、電源を入れる

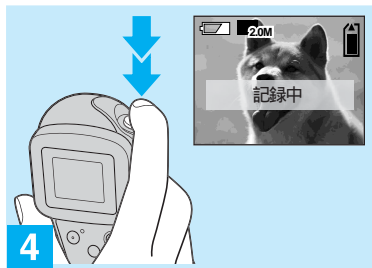
液晶画面に画像の記録フォルダの名前が約5秒間表示されます。

- お買い上げ時は、[フォーカス]が[オート]に設定されています。
- 露出は自動で調整されます。
- 本機では、“メモリースティック”に記録するフォルダを新しく作成したり、選択することができます（32ページ）。

➡ 片手でカメラを構え、被写体を画面中央部におさめる

レンズやフラッシュ発光部に指がかからないようにしてください。

- 画面が水平になるよう、液晶画面で確認してください。
- 晴天の屋外など、強い光の下で撮影すると画面に不要な光（ゴースト）が入ることがあります。このようなときは、手をレンズの上方にかざすなどして光をさえぎって撮影してください。
- 露出、ピントは画面中央部に合います。

➡ シャッターボタンを半押しする

「ピピッ」と音がします。液晶画面内のAE/AFロック表示が点滅から点灯に変わると、撮影可能です。

- シャッターボタンを離せば、いつでも撮影を中止できます。
- 「ピピッ」と音がしないときは、AFロックが失敗しています。このまま撮影することもできますがピントは合っていません。
- 本機は、オートマクロAF機能を採用しております。ピント合わせに必要な被写体までの最短距離は、10 cm（水中では15 cm）です。

→ 半押しのまま、シャッターボタンをさらに押し込む

「ピピッ」と音がします。「記録中」の表示が消えると撮影が完了します。静止画が“ メモリースティック ”に記録され、次の撮影ができます。

• 撮影中、本機の電源を入れたまま約3分間操作をしないと、電池の消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます（21ページ）。

ピント合わせについて

ピントを合わせにくい被写体を撮影しようとしたときは、点滅していたAE/AFロック表示が遅い点滅に変わります。
自動ピント合わせ（AF=オートフォーカス）の場合は、下記の条件でピントが合いにくいことがあります。構図を変えるなどしてもう一度ピントを合わせてみてください。それでもピントが合わないときはフォーカスプリセット（37ページ）をお使いください。

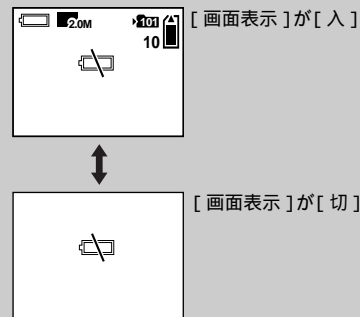
- 被写体が遠くて暗い
- 被写体と背景のコントラストが弱い
- ガラス越しの被写体
- 高速で移動する被写体
- 鏡や発光物など反射、光沢のある被写体
- 点滅する被写体
- 逆光になっている被写体

LCDライトについて

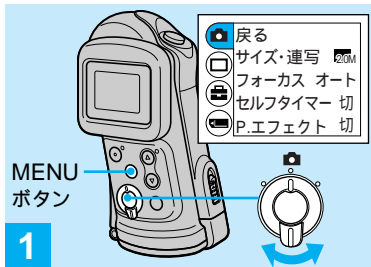
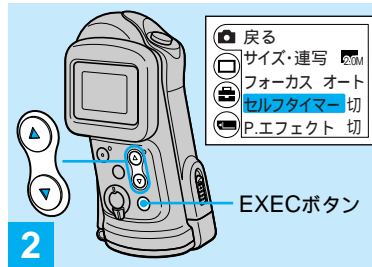
MENUボタンとコントロールボタンの▲/▼で［□］の［LCDライト］を選び、つけたり消したりできます。電池の消耗をおさえたいときに便利です。

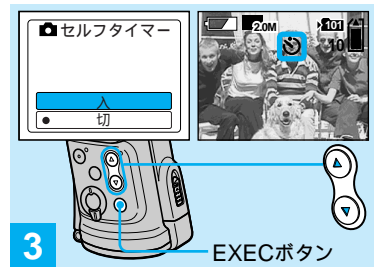
- 本機の液晶画面はハイブリッドLCDを採用しており、LCDライトを［切］にしていても、周囲の明るさがあれば、液晶画面で画像を見ることができます。
- メニュー操作時は、［LCDライト］を［切］に設定しても、LCDライトは点灯します。操作が終わると消灯します。

画面上の表示について

MENUボタンとコントロールボタンの▲/▼で［□］の［画面表示］を選び、出したり消したりできます。
液晶画面で画像を確認しづらいときの撮影に便利です。

- 表示項目について詳しくは、107ページをご覧ください。
- 画面上の表示は記録されません。

静止画を撮る

セルフタイマーで撮る

→ **モードスイッチを「📷」にして、MENUボタンを押す**

メニューが表示されます。

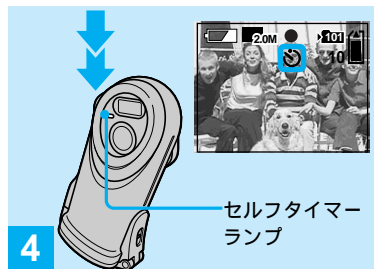
→ **コントロールボタンの▲で［📷］を選び、EXECボタンを押す。**
コントロールボタンの▲/▼で［セルフタイマー］を選び、EXECボタンを押す

→ **コントロールボタンの▲で［入］を選び、EXECボタンを押す**

MENUボタンを押してメニューを消すと、液晶画面に⏲(セルフタイマー）が表示されます。

- モードスイッチを「🎞」の位置にしても操作できます。
- モードスイッチが「🎞」のときは、コントロールボタンで［🎞］を選んでください。
- 本機を立てて置くときは、液晶画面が水平になっていることを確認してください。

フラッシュモードを選ぶ

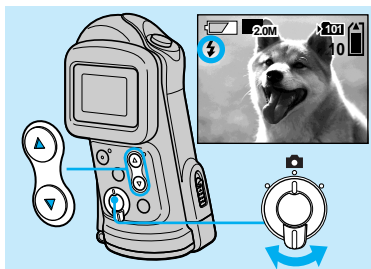
セルフタイマー
ランプ

4

➡ **被写体を画面中央部におさめ、シャッターボタンを深く押し込む**

セルフタイマーランプが赤色に点滅し、「ピッピッピ」とビープ音が鳴ります。約10秒後に撮影されます。

セルフタイマーを途中で止めるには

POWERボタンを押して電源を切ってください。

- カメラの前に立ってシャッターボタンを押すと、ピントや明るさが正しく設定されないことがあります。

➡ **モードスイッチを「」にして、コントロールボタンの▲（）を繰り返し押し、フラッシュモードを選ぶ**

フラッシュモードは下記の通りです。

表示なし（オート）：撮影状況の光量が足りないと判断した場合、自動的に発光します。

（赤目軽減）：フラッシュモードはオートで、発光する場合に赤目軽減機能が働きます。

（強制発光）：周囲の明るさに関係なく発光します。

（発光禁止）：発光しません。

ボタンを押すたびに、下記のように表示が変わります。

表示なし（オート）→ （赤目軽減）→ （強制発光）→ （発光禁止）→ 表示なし（オート）→ …

- 連写のときは、フラッシュモードは使えません。
- メニューが表示されているときは、最初にMENUボタンを押してメニューを消してください。
- フラッシュ推奨撮影距離は約0.5～1.9mです。
- フラッシュモードがオート、（赤目軽減）または（強制発光）のとき、暗い場所で液晶画面を見ると画像にノイズが目立つ場合がありますが、撮影される画像には影響ありません。
- （発光禁止）のとき、暗い場所ではシャッタースピードが遅くなるので手ぶれにご注意ください。
- フラッシュを充電している間は、フラッシュチャージランプが点滅します。充電が完了すると消灯します。
- ここで選んだ設定は、電源を切った後も保持されます。

赤目軽減

撮影前にフラッシュが予備発光し、目が赤く写るのを軽減します。
液晶画面に 👁 が表示されます。

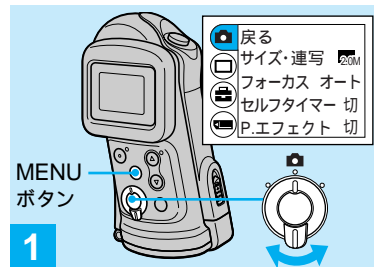
↓

- 赤目軽減の効果には個人差があります。また被写体までの距離や予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が表れにくいことがあります。

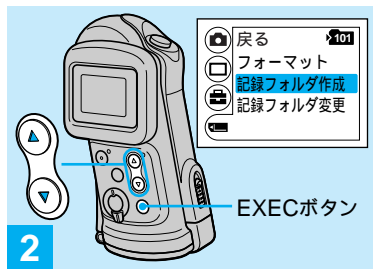
フォルダを作成／選択する

本機は“ メモリースティック ”の中に複数のフォルダを作成することができます。また、入れたいフォルダを選択して記録できます。
新しくフォルダを作成していない場合は、「101MSDCF」フォルダが記録フォルダとして設定されます。フォルダは最高で「999MSDCF」まで作成することができます。

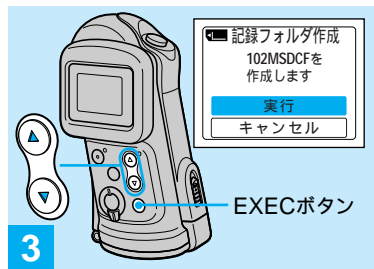
- 1つのフォルダに記録できるのは最大4000枚です。フォルダ容量を越えると、自動的に新しいフォルダが作成されます。

新しいフォルダを作る

→ モードスイッチを「📷」にして、MENUボタンを押す

メニューが表示されます。

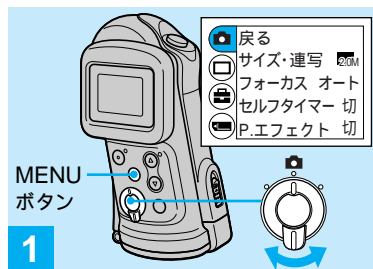
- モードスイッチを「🎞」の位置にしても操作できます。

➡ **コントロールボタンの▼で［］を選び、EXECボタンを押す。**
コントロールボタンの▲/▼で［記録フォルダ作成］を選び、EXECボタンを押す

記録フォルダ作成画面が表示されます。

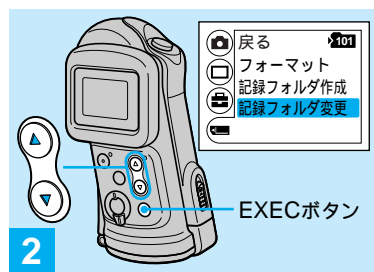
- 一度作成したフォルダを本機では削除することはできません。
- 撮影する画像は、違うフォルダを選択するか、さらに新しくフォルダを作成するまで、そのフォルダに記録されます。

➡ **コントロールボタンの▲で［実行］を選び、EXECボタンを押す**

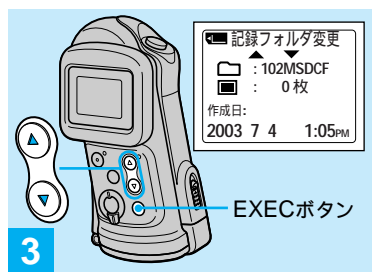
既存最大番号+1のフォルダが作成されます。次に撮影する画像は新しく作成したフォルダに記録されます。
MENUボタンを押してメニューを消すと、作成された記録フォルダが表示されます。

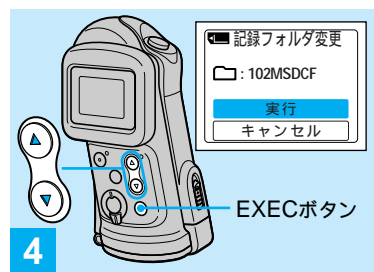
フォルダ作成を中止するには
手順**3**で［キャンセル］を選びます。

記録フォルダを選択する

➡ **モードスイッチを「」にして、MENUボタンを押す**

メニューが表示されます。

- モードスイッチを「」の位置にしても操作できます。

➡ **コントロールボタンの▼で［ ］を選び、EXECボタンを押す。**
コントロールボタンの▼で［記録フォルダ変更］を選び、EXECボタンを押す

記録フォルダ変更画面が表示されます。

➡ **コントロールボタンの▲/▼で希望のフォルダを選び、EXECボタンを押す**

- 「100MSDCF」フォルダは記録フォルダとして選ぶことはできません。
- 画像は選択した記録フォルダに記録されます。本機では記録した画像を別のフォルダに移動することはできません。

➡ **コントロールボタンの▲で［実行］を選び、EXECボタンを押す**

MENUボタンを押してメニューを消すと、選択された記録フォルダが表示されます。

記録フォルダの変更を中止するには

手順**4**で［キャンセル］を選びます。

場面に合わせて撮る ― シーンセレクション

水中や動きのある被写体、ポートレート、夜景と人物、夜景、風景を撮影するときは、下記のモードを使用して効果を高めることもできます。

水中モード

太陽の光が届く水中での撮影に使用します（水深1.5mまで）。ホワイトバランスを水中に最適な設定にし、水中の被写体を印象的に撮影することができます。

- 暖かい場所から急に冷たい水中に入ると、レンズがくもる場合があります。あらかじめ本機を水中の温度になじませてください。
- 水中でのご使用については、「お使いになる前に（11ページ）」「使用上のご注意（96ページ）」「Oリングについて（102ページ）」もご覧ください。

アクティブアウトドアモード

晴れた屋外で、速い動きのある被写体の動きを止めて、生き生きとした画像を撮影することができます。

- フォーカスが［オート］に設定されているとき、ピントは約1 m～∞（無限遠）に合うように調整されます。

ソフトスナップモード

人物の肌の色を、明るく暖かい色調で、きれいに撮影できます。また、ソフトフォーカス効果がありますので、人物や花などを撮影した画像を優しい雰囲気に仕上げることができます。

イルミネーションスナップモード

夜間のスナップ撮影時に、人物などメインとなる被写体と、背景の夜景を同時に美しく撮影できます。また、クロスフィルター効果により、街灯などの明かりが十字の形に強調されます。

- シャッタースピードが遅くなるので手ぶれにご注意ください。
- フラッシュは強制発光で、赤目軽減機能が働きます。
- フォーカスが［オート］に設定されているとき、ピントは約1 m～∞（無限遠）に合うように調整されます。1 mより近い被写体を撮影するときはフォーカスプリセット（37ページ）をご使用ください。

夜景モード

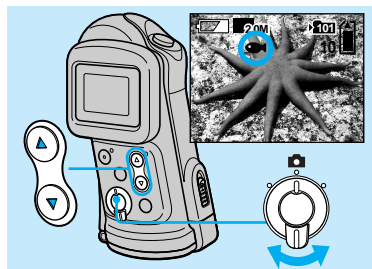
暗い雰囲気を損なわずに、遠くの夜景を撮影することができます。

場面に合わせて撮る — シーンセレクション（つづき）

- シャッタースピードが遅くなるので手ぶれにご注意ください。
- フォーカス設定は［▲ ∞］（無限遠）になります。
- フラッシュは発光禁止になります。
- フォーカスが［オート］に設定されているとき、ピントは遠景に合うように調整されます。

ビビッドネイチャーモード

空や海、山などの青色と緑色が強調され、鮮やかで印象的な自然の風景写真が撮影できます。

- フォーカス設定は［▲ ∞］（無限遠）になります。
- フラッシュは発光禁止になります。
- フォーカスが［オート］に設定されているとき、ピントは遠景に合うように調整されます。

➡ モードスイッチを「📷」にして、コントロールボタンの▼（SCENE）を繰り返し押し、希望のモードを選ぶ

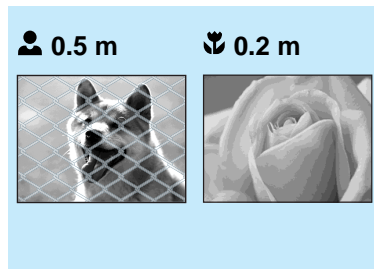
▼（SCENE）を押すたびに、下記のように表示が変わります。

（水中）→ （アクティブアウトドア）→ （ソフトスナップ）→ （イルミネーションスナップ）→ （夜景）→ （ビビッドネイチャー）→ 表示なし（オート）→ …

シーンセレクションを解除するには

コントロールボタンの▼（SCENE）を繰り返し押して、表示なし（オート）に設定してください。

- メニューが表示されているときは、最初にMENUボタンを押してメニューを消してください。
- 動画撮影時、シーンセレクションは使えません。
- ここで選んだ設定は、電源を切ったあとは保持されません。

被写体までの距離を設定する ― フォーカスプリセット

被写体との距離に応じて撮影距離をあらかじめ設定して撮影するときや、網や窓ガラス越しの被写体の撮影など、オートフォーカスが効きにくいときにフォーカスプリセットを使うと便利です。

➡ モードスイッチを「📷」にして、MENUボタンを押す

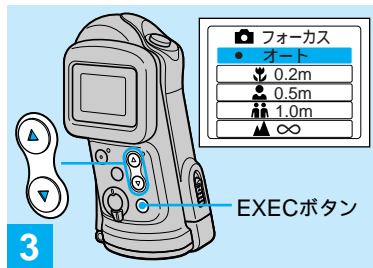
メニューが表示されます。

➡ コントロールボタンの▲で［📷］を選び、EXECボタンを押す。
コントロールボタンの▲/▼で［フォーカス］を選び、EXECボタンを押す

静止画を撮る

- 水中撮影するときは、シーンセレクションの水中モードに設定してお使いください（35ページ）。

- モードスイッチを「🎞」の位置にしても操作できます。

- モードスイッチが「🎞」のときは、コントロールボタンで［🎞］を選んでください。
- フォーカス距離の設定は多少の誤差を含んでいます。目安としてお使いください。

➡ **コントロールボタンの▲/▼で被写体までの距離を選び、EXECボタンを押す**

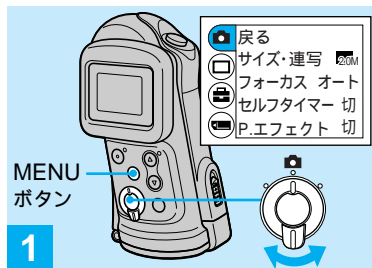
被写体までの距離は次の中から選べます。
オート（表示なし）、0.2m、0.5m、1.0m、∞（無限遠）

MENUボタンを押してメニューを消すと、液晶画面にアイコンが表示されます。

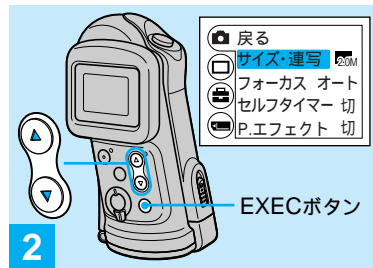
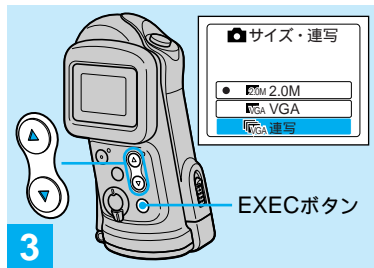
オートフォーカスに戻すには

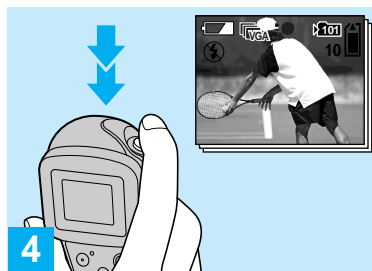
手順3で［オート］を選びます。

- ここで選んだ設定は、電源を切ったあとは保持されません。

連写で画像を撮る

➡ **モードスイッチを「」にして、MENUボタンを押す**

メニューが表示されます。

- フラッシュは使えません。
- シャッターボタンを押したままにすると、最大5枚の画像を連写します。途中でシャッターをはなすと、撮影はそこで止まります。
- 撮影の間隔は約0.5秒です。ただし、イルミネーションスナップモードや夜景モードでは撮影の間隔が長くなる場合があります。

➡ **コントロールボタンの▲で［］を選び、EXECボタンを押す。コントロールボタンの▲/▼で［サイズ・連写］を選び、EXECボタンを押す**

➡ コントロールボタンの▼で［連写］を選び、EXECボタンを押す

MENUボタンを押してメニューを消すと、撮影画面に戻ります。

➡ 半押ししてから、さらに深くシャッターボタンを押したままにする

シャッターボタンを押したままにすると最大5枚の画像が撮影されます。
VGAの画像サイズで記録されます。

- 途中でシャッターボタンをはなすと、押したままにしていた時間内に撮影された枚数が記録されます。

画像に特殊効果を加えて撮る ― ピクチャーエフェクト

画像に特殊効果を加え、メリハリをつけることができます。

ネガアート

写真のネガフィルムのように

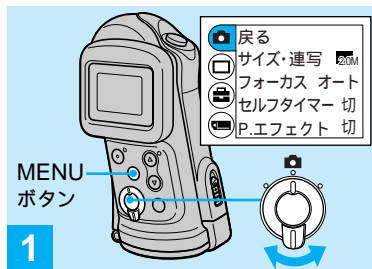
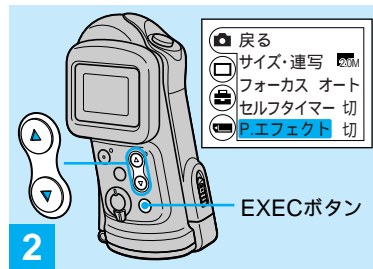
セピア

古い写真のような色合いに

モノトーン

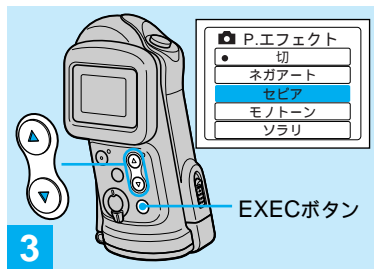
白黒に

ソラリ

明暗をはっきりさせたイラストのように

➡ モードスイッチを「📷」にして、MENUボタンを押す

メニューが表示されます。

➡ コントロールボタンの▲で［📷］を選び、EXECボタンを押す。コントロールボタンの▼で［P.エフェクト］を選び、EXECボタンを押す

- モードスイッチを「🎞」の位置にしても操作できます。

- モードスイッチが「🎞」のときは、コントロールボタンで［🎞］を選んでください。

➡ **コントロールボタンの▲/▼で希望のモードを選び、EXECボタンを押す**

MENUボタンを押してメニューを消すと、液晶画面に設定したモードが表示されます。

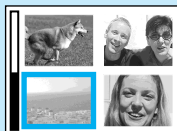
ピクチャーエフェクトを解除するには

手順3で［切］を選びます。

- ここで選んだ設定は、電源を切ったあとは保持されません。

静止画を撮る

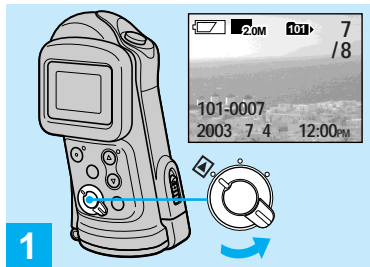
液晶画面で静止画を見る

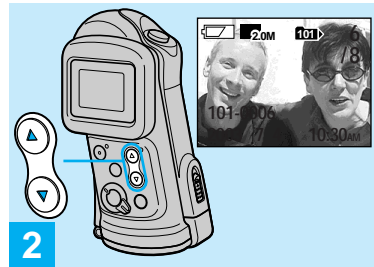
1枚表示画面　4枚表示画面

撮影した画像を本機の液晶画面ですぐに見ることができます。表示方法は下記の2種類から選ぶことができます。

1枚表示画面
1枚の画像を画面いっぱいで見ることができます。

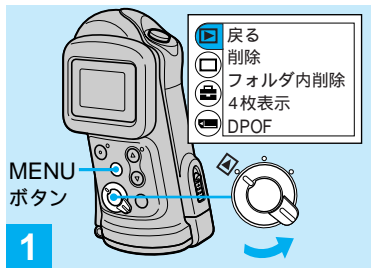
4枚表示画面
4枚の画像を同時に見ることができます。

- 画像に表示される項目については、109ページをご覧ください。
- 動画の再生については、50ページをご覧ください。

1枚表示画面で見る

→ モードスイッチを「▶」にして、電源を入れる

選択されている記録フォルダ（33ページ）の最新の画像が表示されます。

→ コントロールボタンの▲/▼で静止画を選ぶ

▲：前の画像が表示されます。
▼ ：次の画像が表示されます。

4枚表示画面で見る

➡ **モードスイッチを「▶」にして、MENUボタンを押す**

メニューが表示されます。

➡ **コントロールボタンの▲で［▶］を選び、EXECボタンを押す。コントロールボタンの▲/▼で［4枚表示］を選び、EXECボタンを押す**

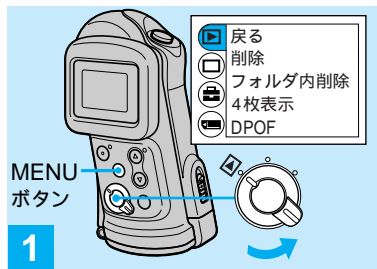
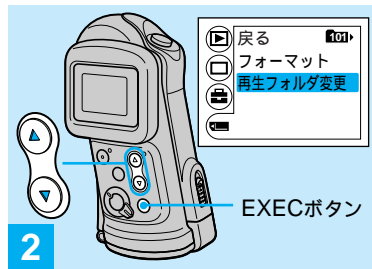
4枚表示画面に切り換わります。

次（前）の4枚表示画面を表示するには

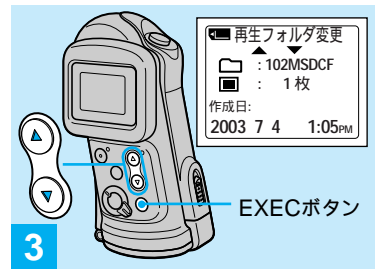
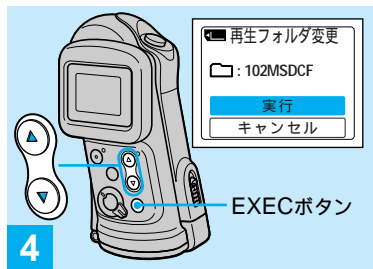
コントロールボタンの▲/▼で、黄色い枠を動かしてください。

1枚表示画面に戻るには

手順**2**で［1枚表示］を選びます。または4枚表示のとき、EXECボタンを押すと黄色い枠のついている画像が1枚表示されます。

フォルダを選択して再生する ― フォルダ

➡ **モードスイッチを「▶」にして、MENUボタンを押す**

メニューが表示されます。

➡ **コントロールボタンの▼で［ ］を選び、EXECボタンを押す。**
コントロールボタンの▲/▼で［再生フォルダ変更］を選び、EXECボタンを押す

再生フォルダ変更画面が表示されます。

➡ **コントロールボタンの▲/▼で再生したいフォルダを選び、EXECボタンを押す**

➡ コントロールボタンの▲で[実行]を選び、EXECボタンを押す

MENUボタンを押してメニューを消すと、選択された再生フォルダが表示されます。

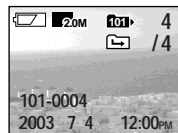
再生フォルダの選択を中止するには

手順4で[キャンセル]を選びます。

"メモリースティック"に複数のフォルダがあるときは

フォルダ内の最初／最後の画像に下記のマークが表示されます。

- ↵: 前のフォルダに移動できます。
- ↳: 次のフォルダに移動できます。
- ↵↳: 前のフォルダにも、次のフォルダにも移動できます。

1枚表示画面のとき

4枚表示画面のとき

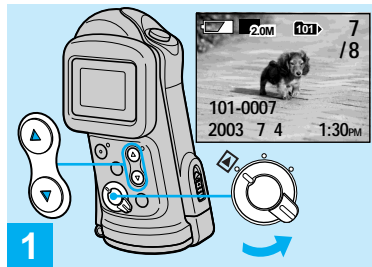
- 再生フォルダ内に画像がないときは、「このフォルダにはファイルがありません」と表示されます。
- 再生フォルダを選択しなくても最後に撮影した画像から再生できます。

画像を拡大する — 拡大再生

撮影した画像を元の画像の2.5倍または5倍に拡大して見ることができます。

1倍（通常）

2.5倍

5倍

➡ モードスイッチを「▶」にして、コントロールボタンの▲/▼で拡大したい画像を表示する

- 動画は拡大再生できません。
- 他機で撮影した画像は、拡大できない場合があります。
- 拡大した画像を新しいファイルとして記録することはできません。

➡ EXEC（Q：拡大再生）ボタンを繰り返し押し、希望の倍率を選ぶ

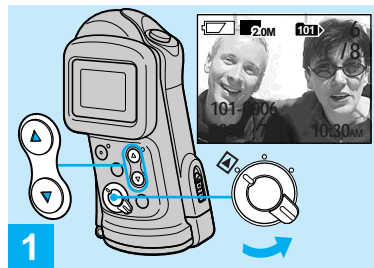
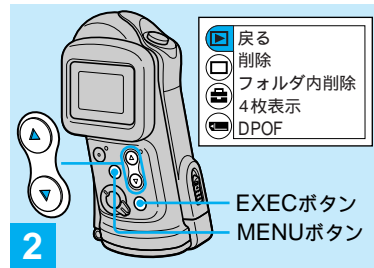
画面中央部が拡大されます。
EXEC（Q：拡大再生）ボタンを押すたびに、下記のように倍率が変わります。
2.5倍 → 5倍 → 表示なし（通常）
→…

拡大再生を解除するには

EXEC（Q：拡大再生）ボタンを繰り返し押して、表示なし（通常）に戻してください。

- 画面中央部以外は拡大再生できません。

プリント予約をする — プリント予約マーク

プリントしたい画像をあらかじめ本機で予約することができます。DPOF（Digital Print Order Format）規格に対応しているお店やプリンターで画像をプリントするときなどに便利な機能です。

➡ **モードスイッチを「▶」にして、コントロールボタンの▲/▼でプリント予約したい画像を表示する**

➡ **MENUボタンを押し、コントロールボタンの▲で［▶］を選び、EXECボタンを押す**

4枚表示画面でプリント予約マークを付けるには

43ページの手順**2**を行い、4枚表示画面に切り換えてください。

- 動画にはプリント予約マークは付けられません。

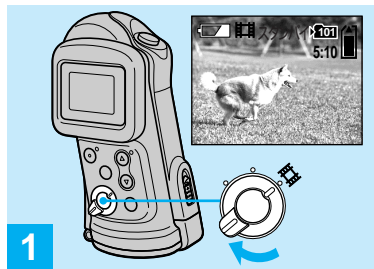
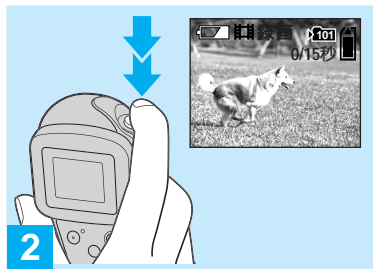
→ コントロールボタンの▼で［DPOF］を選び、EXECボタンを押す

→ コントロールボタンの▲で［入］を選び、EXECボタンを押す

MENUボタンを押してメニューを消すと、表示されている画像に（プリント予約）マークが付きます。

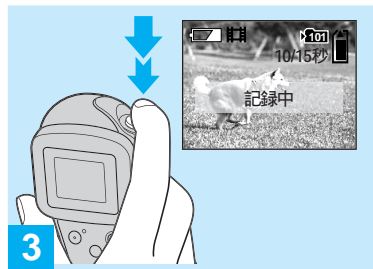
プリント予約マークを消すには

手順4で［切］を選びます。マークが消えます。

動画を撮る

→ **モードスイッチを「」にして、電源を入れる**

→ **シャッターボタンを深く押し込む**

「録画」と表示され、画像の記録が始まります。

1回の撮影での記録時間は最大15秒です。

- フォーカス設定がオートの場合、約1mから∞（無限遠）までにピントを合わせた状態になります。これより近くの被写体を撮影するときは、フォーカスプリセットで0.2m、0.5mに設定してお使いください（37ページ）。
- “メモリースティック”の容量がいっぱいになると停止します。
- フラッシュは使えません。

→ **録画を止めるには、シャッターボタンをもう一度深く押し込む**

撮影中の画面上の表示は

画像には記録されません。MENUボタンとコントロールボタンの▲/▼で［□］の［画面表示］を選び、画面表示を出したり消したりできます（29ページ）。

表示項目について詳しくは、108ページをご覧ください。

セルフタイマーで撮影する

モードスイッチを「」にして、30ページの手順に従ってください。

- 動画に音声は録音されません。

液晶画面で動画を見る

→ モードスイッチを「▶」にして、電源を入れる

選択されている記録フォルダ（33ページ）の最新の画像が表示されます。

→ コントロールボタンの▲/▼で見たい動画を選ぶ

▲：前の画像が表示されます。
▼：次の画像が表示されます。

記録時間について

“メモリースティック”の容量によって記録時間は異なります。
下表を参考に用途に応じて“メモリースティック”をお選びください。

- 1回の撮影での記録時間は最大15秒です。
- 記録時間は撮影状況によっては数値と異なる場合があります。
- 静止画撮影時の記録枚数については27ページをご覧ください。
- 記録時間が99分59秒を超える場合は「>99:59」と表示されます。

画像サイズ / 容量	160×112
8MB	5分35秒
16MB	11分13秒
32MB	22分43秒
64MB	45分40秒
128MB	1時間31分34秒
MSX-256	2時間45分35秒
MSX-512	5時間36分43秒
MSX-1G	11時間27分19秒

➡ EXECボタンを押す

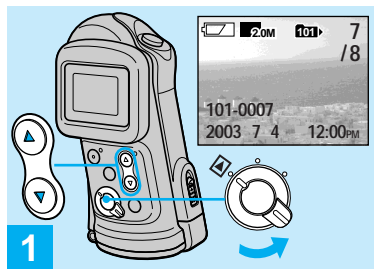
動画が再生されます。

再生を止めるには

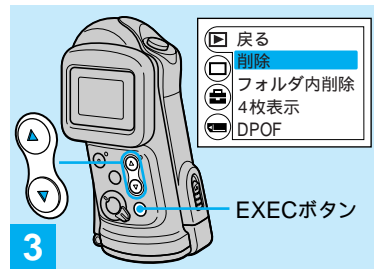
EXECボタンを押します。

動画再生中の画面上の表示は

画像には記録されていません。MENUボタンとコントロールボタンの▲/▼で［▭］の［画面表示］を選び、画面表示を出したり消したりできます（29ページ）。
表示される項目について詳しくは、109ページをご覧ください。

静止画／動画を削除する

➡ モードスイッチを「▶」にして、電源を入れる。
コントロールボタンの▲/▼で削除したい画像を表示する

➡ MENUボタンを押し、コントロールボタンの▲で［▶］を選び、EXECボタンを押す

4枚表示画面で削除をするには
43ページの手順**2**を行い、4枚表示に切り換えてください。

➡ コントロールボタンの▲/▼で［削除］を選び、EXECボタンを押す

この時点ではまだ削除されていません。

フォルダ内のすべての画像を削除するには
手順**3**で［フォルダ内削除］を選びます。

- 他機でプロテクト（誤消去防止機能）をかけた画像は削除できません。

“メモリースティック”をフォーマットする

➡ フォーマットしたい“ メモリースティック ”を入れる

フォーマット中は内ふたを開けないでください。“ メモリースティック ”が壊れることがあります。

➡ 電源を入れ、MENUボタンを押す

メニューが表示されます。

➡ コントロールボタンの▲で［実行］を選び、EXECボタンを押す

「アクセス中」という表示が消えると、画像が削除されます。

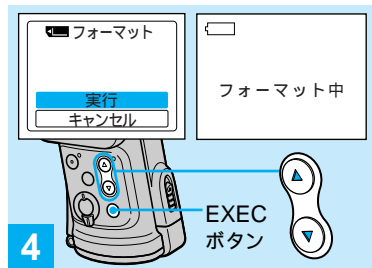
削除を中止するには

手順4で［キャンセル］を選びます。

- **防水ふたを開ける前には、本体についた砂を洗い流し、水分をよく拭き取ってください。**
- Oリングと本体内側のOリング接合面にキズや変形などの異常や、ゴミや髪の毛などの付着がないか点検してください。

- フォーマットする際は、電池の残量が充分ある状態で行ってください。電池が途中で切れるとフォーマットエラーになることがあります。
- フォーマットはモードスイッチがどの位置でも操作できます。

➡ コントロールボタンの▼で［ ］を選び、EXECボタンを押す。
コントロールボタンの▲/▼で［フォーマット］を選び、EXECボタンを押す

- 「フォーマット」とは、“ メモリースティック ”に画像を記録できるようにする作業のことで、「初期化」とも言います。本機に付属、または市販の“ メモリースティック ”はすでにフォーマットされており、すぐにお使いになれます。
- **フォーマットすると、他機でプロテクト（誤消去防止機能）をかけた画像を含め、“ メモリースティック ”内のすべてのデータが消去されますので、ご注意ください。**

➡ コントロールボタンの▲で［実行］を選び、EXECボタンを押す

「フォーマット中」という表示が消えると、フォーマットが完了します。

フォーマットを中止するには

手順4で［キャンセル］を選びます。

画像をパソコンに取り込むまで

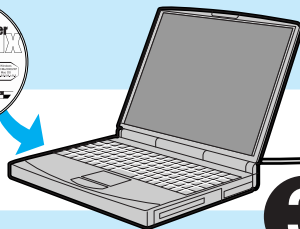
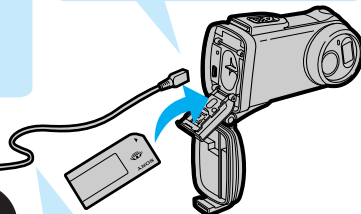
右記のような流れで、本機で撮影した画像をパソコンに取り込みます。

お使いのOSでの手順は

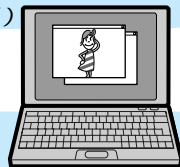
OSによって不要な手順があります。

OS	手順
Windows 98/98SE/2000/Me	手順❶～❺すべて（57～64、67ページ）
Windows XP	手順❷～❺（60～61、65～67ページ）
Mac OS 8.5.1/8.6/9.0/9.1/9.2、Mac OS X (v10.0/v10.1/v10.2)	69～70ページ

1 USBドライバをインストールする *（57ページ）*

2回目以降、画像を取り込むときは不要です。

2 本機とパソコンを準備する *（60ページ）*

3 USBケーブルで接続する *（61ページ）*

4 画像ファイルをパソコンにコピーする *（62ページ）*

5 パソコンで画像を見る *（67ページ）*

パソコンとの接続方法や最新サポート情報はデジタルイメージングカスタマーサポートのホームページをご覧ください。

パソコンの推奨使用環境

■ Windowsパソコン環境

OS: Microsoft Windows 98/
Windows 98SE/
Windows 2000 Professional/
Windows Millennium Edition/
Windows XP Home Edition/
Windows XP Professional

工場出荷時にインストールされていることが必要です。
上記のOSでもアップグレードされた場合や、マルチブート環境の場合は動作保証いたしません。

CPU: MMX Pentium 200 MHz以上

USB端子: 標準装備であること

ディスプレイ: 800×600ドット以上
High Color（16 bitカラー、65000色）以上

■ Macintosh環境

OS: Mac OS 8.5.1/8.6/9.0/9.1/9.2、Mac OS X (v10.0/v10.1/v10.2)
工場出荷時にインストールされていることが必要です。
ただし、次のモデルの場合はMac OS 9.0/9.1/9.2にアップデートしてご使用ください。

– Mac OS 8.6が工場出荷時にインストールされていて、CD-ROMドライブがスロットローディングのiMac
– Mac OS 8.6が工場出荷時にインストールされているiBook、Power Mac G4

USB端子: 標準装備であること

ディスプレイ: 800×600ドット以上
32000色モード以上

- 1台のパソコンで2台以上のUSB機器を接続している場合、同時に使用するUSB機器によっては、本機が動作しないことがあります。
- USBハブ経由でご使用の場合は、動作保証いたしません。
- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

USBモードについて

USBモードには［標準］と［PTP］*の2通りの接続方法があり、お買い上げ時には［標準］に設定されています。ここでは主に［標準］での使いかたを説明します。本機とパソコンをUSBケーブルで接続すると、本機の電源をパソコンから供給することができます（USBバス電源供給）。

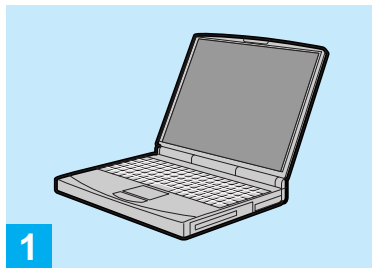
* Windows XP、Mac OS Xに対応。パソコン接続時に、本機に設定されている記録フォルダ内のデータのみをパソコンにコピーします。接続中にフォルダを選択するには、MENUボタンを押して再生フォルダの変更を行ってください。

パソコンとの通信について

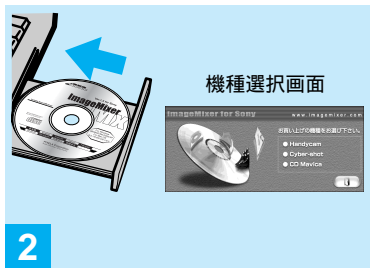
パソコンがサスペンド・レジューム機能、またはスリープ機能から復帰しても、通信状態が復帰できないことがあります。

USB端子がないパソコンをお使いの場合は

USB端子も“メモリースティック”スロットもないパソコンをお使いの場合は、アクセサリーを使うことにより画像を取り込めます。詳しくは、デジタルイメージングカスタマーサポートのホームページをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/support-di/

❶ USBドライバをインストールする 98 2000 98SE Me

➡ **パソコンの電源を入れる**

この時点では、本機をパソコンに接続しないでください。

- ここでは、Microsoft Windows Meの画面を使って説明します。OSの種類によって、画面表示や操作方法が異なることがあります。
- **パソコンを使用中の場合には、使用中のソフトウェアをすべて終了させてください。**
- Windows 2000をお使いの方は、Administrator（管理者権限）でログオンしてください。

➡ **付属のCD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットする**

機種選択画面が表示されます。
機種選択画面が表示されないときは、デスクトップ画面上の（マイ コンピュータ）→（ImageMixer）の順にダブルクリックしてください。

- ディスプレイの設定を800×600ドット以上、High Color（16 bitカラー、65000色）以上にしてください。
  800×600ドット未満、256色以下ではインストールの機種選択画面が表示されません。

➡ **「Cyber-shot」の部分に（ポインタ）を動かし、クリックする**

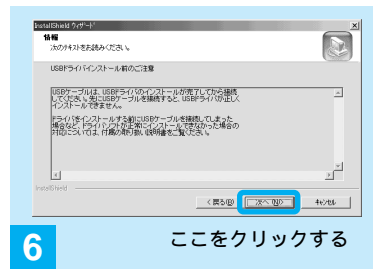
インストールメニュー画面が表示されます。

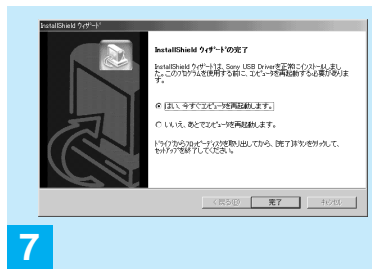
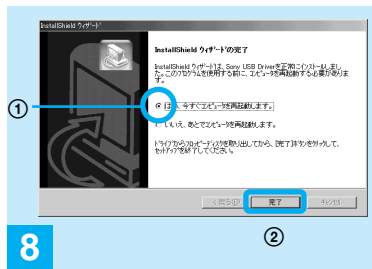
❶ USBドライバをインストールする（つづき）

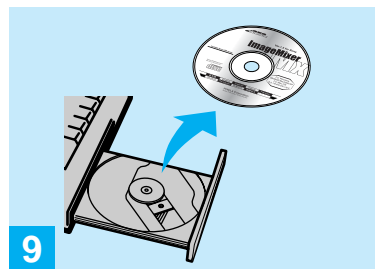
➡「USB Driver」の部分に（ポインタ）を動かし、クリックする

「Sony USB Driver用のInstallShieldウィザードへようこそ」画面が表示されます。

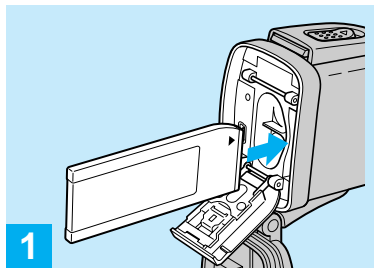
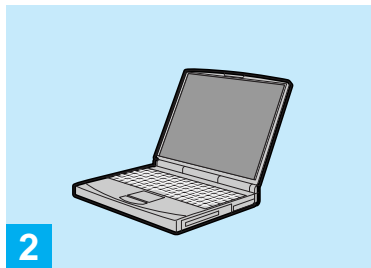
➡ ［次へ］をクリックする

「情報」画面が表示されます。

➡ ［次へ］をクリックする

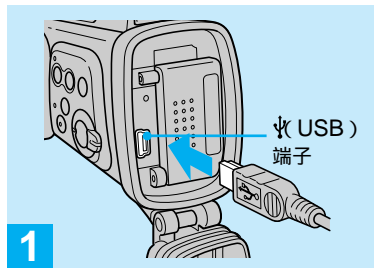
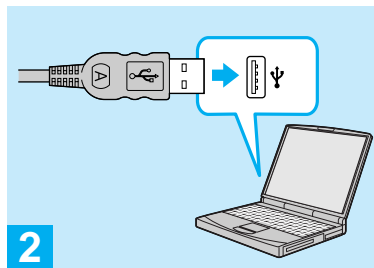
USBドライバのインストールが始まります。

➡ インストールが終了すると「InstallShieldウィザードの完了」画面が表示される

➡［はい、今すぐコンピュータを再起動します。］の○をクリックして◉にし、［完了］をクリックする

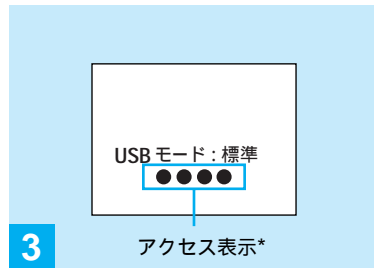
パソコンの電源が一度切れ、すぐに入ります（再起動）。

➡ 再起動後に、パソコンからCD-ROMを取り出す

本機とパソコンでUSB接続ができるようになります。

❷ 本機とパソコンを準備する 98 2000 XP 98SE Me

➡ 本機に画像を記録した“メモリースティック”を入れる

➡ パソコンの電源を入れる

- 推奨環境に記載のほとんどのパソコンとの接続においてUSB接続時は、パソコンから電源の供給を受けるので、本機に電池を入れておく必要はありません（USBバス電源供給）。
- 電池の劣化を防ぐために、電池は抜いて接続することをおすすめします。
- “メモリースティック”の入れかたについては、24ページをご覧ください。

❸ USBケーブルで接続する 98 98SE 2000 Me XP

➡ **本機の防水ふたを開け、付属のUSBケーブルを(USB)端子につなぐ**

➡ **USBケーブルをパソコンのUSB端子につなぐ**

本機の電源が入ります。

本機の液晶画面に「USBモード：標準」と表示されます。
初回接続時のみ、パソコンが本機を認識するための作業を自動的に行います。作業が終わるまでお待ちください。

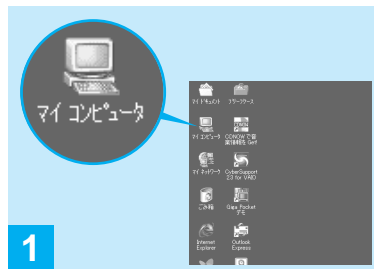
* 通信中はアクセス表示が赤色になります。

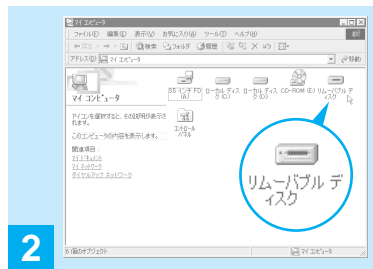
- **USBハブ経由でご使用の場合は、動作保証いたしません。本機とパソコンを直接接続してください。**

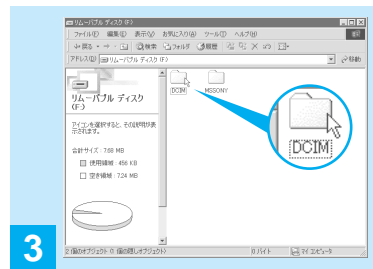
- 本機に“メモリースティック”が入っていないと電源は入りませんのでご注意ください。
- デスクトップ型パソコンをお使いの場合は、パソコン後面にあるUSB端子のご使用をおすすめします。
- Windows XPをお使いの場合は、パソコンの画面に自動再生ウイザードが表示されます。65ページにお進みください。

- 手順3を終了しても「USB モード：標準」と表示されないときは、本機のメニューで［］の［USB］が［標準］になっているか確認してください（95ページ）。
- USBモードでは、POWERボタンによる操作など本機側の操作を行うことはできません。

画像をパソコンに取り込む

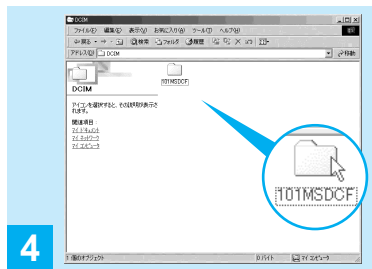
④ 画像ファイルをパソコンにコピーする 98 98SE 2000 Me （XP 65～66ページ）

➡ [マイ コンピュータ] をダブルクリックする

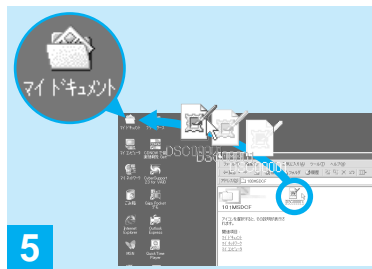
「マイ コンピュータ」画面が表示されます。

➡ [リムーバブル ディスク] をダブルクリックする

本機内の“ メモリースティック ”の内容が表示されます。

➡ [DCIM] をダブルクリックする

新しくフォルダを作成していない場合は、「101MSDCF」フォルダのみ表示されます。

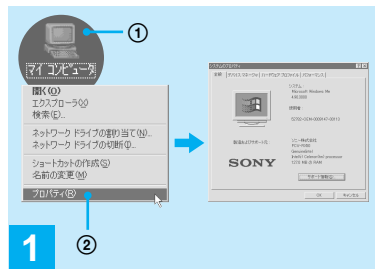
- ここでは、「マイドキュメント」というフォルダに画像をコピーします。

- リムーバブル ディスクが表示されていないときは、64ページをご覧ください。

➡ 取り込みたい画像の入っているフォルダをダブルクリックする

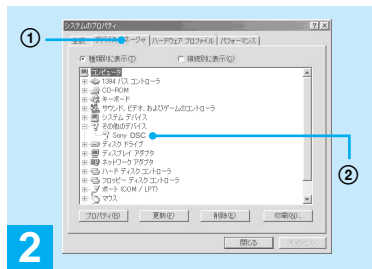
フォルダの内容が表示されます。

➡ 画像ファイルを「マイドキュメント」フォルダにドラッグ＆ドロップする

「マイドキュメント」フォルダに画像ファイルがコピーされます。

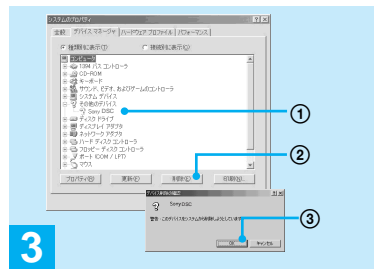
- コピー先に同じファイル名の画像があると、元の画像を上書きしてもよいかを確認するメッセージが表示されます。上書きすると、元のフォルダの内容は消えます。

「リムーバブル ディスク」が表示されないときは

➡ [マイ コンピュータ]を右クリックし、[プロパティ]をクリックする

「システムのプロパティ」画面が表示されます。

- Windows 2000をお使いの方は、「システムのプロパティ」画面の[ハードウェア]タブをクリックしてください。

➡ 別のデバイスが表示されていないか確認する

① [デバイス マネージャ]をクリックする。

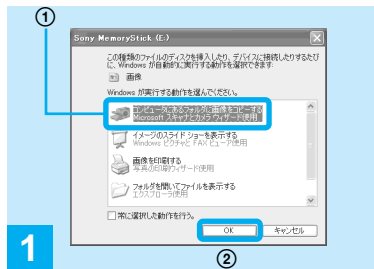
②"？"マークの付いた「？Sony DSC」がないか確認する。

➡ 表示されていたら削除する

①「？Sony DSC」をクリックする。（Windows 2000をお使いの場合、「？Sony DSC」を右クリックしてください。）

② [削除]をクリックする。
「デバイス削除の確認」画面が表示されます。

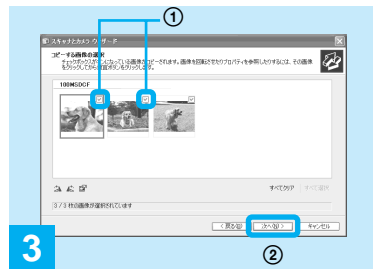
③ [OK]をクリックする。
デバイスが削除されます。

デバイスを削除したあと、付属のCD-ROMのUSBドライバをインストールし直してください（57ページ）。

❹ 画像ファイルをパソコンにコピーする XP

➡ 61ページの手順でUSB接続を行うと、自動再生ウィザードが起動する。
［コンピュータにあるフォルダに画像をコピーする。
Microsoftスキャナとカメラウィザード使用］をクリックし、［OK］をクリックする

「スキャナとカメラ ウィザードの開始」画面が表示されます。

➡［次へ］をクリックする

本機の“ メモリースティック ”に記録されている画像が表示されます。

➡ パソコンにコピーしない画像の ☑ をクリックして □ にし、［次へ］をクリックする

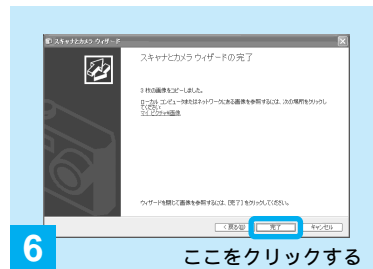
「画像の名前とコピー先」画面が表示されます。

❹ 画像ファイルをパソコンにコピーする（つづき）

➡ 画像の名前とコピー先を指定し、［次へ］をクリックする

画像のコピーが始まります。コピーが終了すると、「そのほかのオプション」画面が表示されます。

➡ ［作業を終了する］を選び、［次へ］をクリックする

「スキャナとカメラ ウィザードの完了」画面が表示されます。

➡ ［完了］をクリックする

ウィザード画面が閉じます。

- ここでは、画像のコピー先を「マイドキュメント」にしています。

- 続けて画像をコピーしたい場合は、67ページの❗の手順に従ってUSBケーブルを一度抜き差しして、手順1から行ってください。

❺ パソコンで画像を見る 98 2000 XP 98SE Me

パソコンからUSBケーブルを抜くときや、USB接続中の本機から"メモリースティック"を取り出すときは

Windows 2000/Me/XPをお使いの場合は

1 タスクトレイの をダブルクリックする。

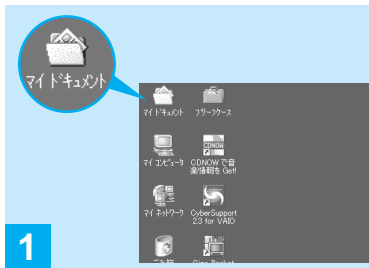
2 (Sony DSC)をクリックし、[停止]をクリックする。

3 取りはずすドライブを確認して、[OK]をクリックする。

4 [OK]をクリックする。
Windows XPをお使いの方は、手順4は不要です。

5 USBケーブルを抜く、または"メモリースティック"を取り出す。

Windows 98/98SEをお使いの場合は

アクセス表示(61ページ)が白くなっていることを確認して、手順5のみ行ってください。

➡ **デスクトップ画面上の[マイドキュメント]をダブルクリックする**

「マイドキュメント」フォルダの内容が表示されます。

➡ **見たい画像ファイルをダブルクリックする**

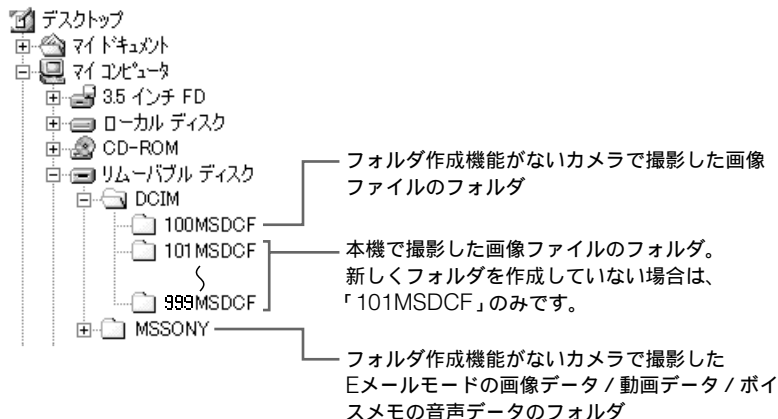
画像が開きます。

- 62、65ページで、「マイドキュメント」フォルダに画像をコピーした場合の説明です。
- Windows XPをお使いの場合は、[スタート]→[マイドキュメント]をクリックしてください。

画像ファイルの保存先とファイル名

本機で撮影した画像ファイルは、“ メモリースティック ”内のフォルダにまとめられています。

Windows Meで見たときの例

フォルダ名	ファイル名	ファイルの内容
101MSDCF ～ 999MSDCF	DSC0□□□□.JPG	静止画ファイル
	MOV0□□□□.MPG	動画ファイル

- 「100MSDCF」または「MSSONY」のフォルダには本機で画像を記録できません。再生のみ可能です。
- フォルダについては、44ページをご覧ください。
- □□□□には0001から9999までの数字が入ります。

Macintoshをお使いの場合

Mac OS 9.1/9.2、Mac OS X (v10.0/v10.1/v10.2)をお使いの方は手順❷から操作してください。
ディスプレイの設定を800×600ドット以上、32000色モード以上にしてください。

❶USBドライバをインストールする（Mac OS 8.5.1/8.6/9.0のみ）

1 パソコンの電源を入れる。

- パソコンを使用中の場合には、使用中のソフトウェアをすべて終了させてください。

2 付属のCD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットする。
機種選択画面が表示されます。

3 「Cyber-shot」の部分に（ポインタ）を動かし、クリックする。
インストールメニュー画面が表示されます。

4 「USB Driver」をクリックする。
「USB Driver」画面が表示されます。

5 OSの入っているハードディスクアイコンをダブルクリックして、画面を開く。

6 手順4で開いたウィンドウから、下記の2つのファイルを、手順5で開いたウィンドウの「システムフォルダ」のアイコンの上に移動（ドラッグ＆ドロップ）する。

- Sony USB Driver
- Sony USB Shim

7 確認のメッセージが表示されたら[OK]をクリックする。

8 パソコンを再起動し、CD-ROMを取り出す。

❷本機とパソコンを準備する

詳しくは、60ページをご覧ください。

❸USBケーブルで接続する

詳しくは、61ページをご覧ください。

パソコンからUSBケーブルを抜くときや、USB接続中の本機から“メモリースティック”を取り出すときは

“メモリースティック”またはドライブのアイコンをゴミ箱にドラッグ＆ドロップしてから、USBケーブルを抜くなどの作業を行ってください。

- Mac OS X v10.0をお使いの場合は、パソコンの電源を切ってからUSBケーブルを抜く、または“メモリースティック”を取り出してください。

❹画像ファイルをパソコンにコピーする

1 デスクトップ画面上の新しく認識されたアイコンをダブルクリックする。
本機内の“メモリースティック”の内容が表示されます。

2 [DCIM]をダブルクリックする。

3 取り込みたい画像の入っているフォルダをダブルクリックする。

4 画像ファイルをハードディスクアイコンにドラッグ＆ドロップする。
ハードディスクに画像ファイルがコピーされます。

❺ パソコンで画像を見る

1 ハードディスクアイコンをダブルクリックする。

2 画像ファイルをフォルダの中から選んでダブルクリックする。
画像が開きます。

「Image Transfer」をインストールする

「Image Transfer」はWindowsのみに対応しています。
本機に付属のCD-ROMに入っているソフトウェア「Image Transfer」（イメージトランスファー）を使うと、本機で撮影した画像をお使いのパソコンに簡単に取り込むことができます。

- パソコンを使用中の場合には、使用中のソフトウェアをすべて終了させてください。
- 「Image Transfer」をお使いになるためには、USBドライバが必要です。お使いのパソコンに必要なドライバがインストールされていないときは、ドライバのインストールをうながす画面が表示されます。このときは、画面の指示に従って操作してください（57ページ）。

1 パソコンの電源を入れる

- Windows 2000をお使いの方は、Administrator（管理者権限）でログオンしてください。
- Windows XPをお使いの方は、コンピュータの管理者権限でログオンしてください。

2 付属のCD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットする

機種選択画面が表示されます。

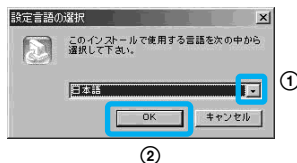
機種選択画面が表示されないときは、デスクトップ画面上の（マイコンピュータ）→（ImageMixer）の順にダブルクリックしてください。

3 「Cyber-shot」の部分に（ポインタ）を動かし、クリックする

インストールメニューが表示されます。

4 インストールメニュー画面の中の「Image Transfer」の部分に（ポインタ）を動かし、クリックする

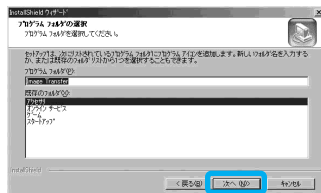
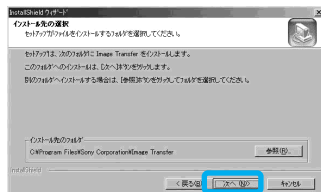
「設定言語の選択」画面が表示されます。

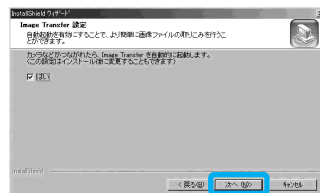
5 [▼] をクリックして「日本語」を選び、[OK] をクリックする

「Image Transfer用のInstallShieldウィザードへようこそ」画面が表示されます。

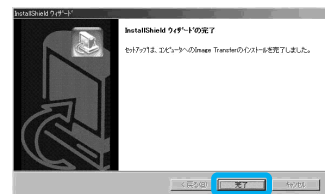
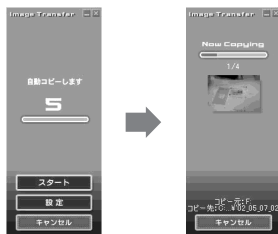
6 [次へ] をクリックする

「使用許諾契約」画面が表示されたら、[はい] をクリックする。
ソフトウェア使用許諾契約書の内容をよくご確認ください。同意された場合は、インストールの手順に進みます。「情報」画面が表示されます。

7 [次へ] をクリックする

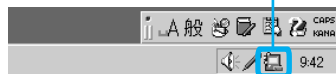
8 「インストール先の選択」画面でインストールするフォルダを選び、［次へ］をクリックする。「プログラムフォルダの選択」画面でプログラムフォルダを選び、［次へ］をクリックする

9 「カメラなどがつながれたら Image Transfer を自動的に起動します。」の「はい」がチェックされているのを確認し、［次へ］をクリックする

「Image Transfer」のインストールが始まります。
インストールが終わると、「InstallShieldウィザードの完了」画面が表示されます。

10 ［完了］をクリックする

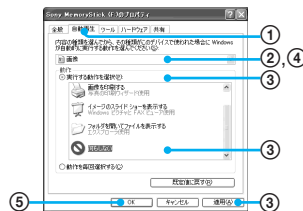
インストール画面が閉じます。

「Image Transfer」で画像をコピーする

- 通常は「マイドキュメント」フォルダ内に「Image Transfer」、「日付」フォルダが作成され、その中に画像ファイルがすべてコピーされます。
- 「Image Transfer」の設定は設定画面で変更できます（74ページ）。
- 「ImageMixer」（75ページ）がインストールされていると、「Image Transfer」で画像をコピーしたあとに「ImageMixer」が自動起動し、画像一覧が表示されます。

60～61ページの操作を行い、本機とパソコンを付属のUSBケーブルでつないでください。
「Image Transfer」が自動起動し、“メモリースティック”内の画像がコピーされます。

- Windows XPをお使いの場合は、右記をご覧ください。
- 「Image Transfer」が自動起動しない場合は、タスクトレイの「Image Transfer」のアイコンをダブルクリックして起動してください。

ここをダブルクリック

Windows XPの場合

Windows XPでは、自動再生ウィザードが起動するように設定されています。自動再生ウィザードを起動しないようにするには、下記の手順で設定を解除してください。

1. 本機とパソコンを付属のUSBケーブルで接続する（61ページ）
2. ［スタート］→［マイコンピュータ］をクリックする
3. ［Sony MemoryStick］を右クリックし、［プロパティ］をクリックする
4. 設定を解除する

① ［自動再生］をクリックする

② 「内容の種類」を［画像］にする

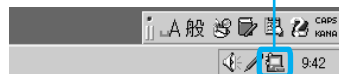
③ 「動作」の［実行する動作を選択］をチェックして［何もしない］を選び、［適用］をクリックする

④ 手順②で［ビデオファイル］と［混在したコンテンツ］を選び、手順③を繰り返す

⑤ ［OK］をクリックする
「プロパティ」画面が閉じます。

「Image Transfer」の設定を変更する

「Image Transfer」の設定を変更することができます。
タスクトレイの「Image Transfer」のアイコンを右クリックし［設定画面を開く］を選んでください。
設定できるのは、「基本の設定」、「コピーの設定」、「削除の設定」です。

ここを右クリック

「Image Transfer」が起動すると、下記の画面が表示されます。

「Image Transfer」起動時に［設定］を選んだ場合は、「基本の設定」のみ変更できます。

「ImageMixer」をインストールする

「ImageMixer」はWindows、Macintosh（Mac OS Xを除く）ともに対応しています。
本機に付属のCD-ROMに入っているソフトウェア「ImageMixer Ver.1.5 for Sony（イメージミキサーバージョン1.5フォーソニー）」を使うと、本機で撮影した画像をお使いのパソコンで手軽に楽しめます。

- パソコンの使用動作環境について詳しくは、CD-ROMに付属の取扱説明書をご覧ください。
- パソコンを使用中の場合には、使用中のソフトウェアをすべて終了させてください。
- Windowsをお使いの方は「Image Transfer」（70ページ）で簡単にパソコンに画像を取り込むことができます。本機からパソコンへ画像のコピーのみ行うという方に最適です。

ImageMixerに関するお問い合わせ
ピクセラユーザーサポートセンター
電話：072-224-0181
受付時間：月～日　午前9時～午後5時
（ただし、年末、年始、祝日を除く）
URL：http://www.imagemixer.com

Windowsの場合

1 パソコンの電源を入れる

- Windows 2000をお使いの方は、Administrator（管理者権限）でログオンしてください。
- Windows XPをお使いの方は、コンピュータの管理者権限でログオンしてください。

2 付属のCD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットする

機種選択画面が表示されます。

機種選択画面が表示されないときは、デスクトップ画面上の（マイコンピュータ）→（ImageMixer）の順にダブルクリックしてください。

3 「Cyber-shot」の部分に（ポインタ）を動かし、クリックする

インストールメニューが表示されます。

4 インストールメニュー画面の中の「ImageMixer」の部分に（ポインタ）を動かし、クリックする

「設定言語の選択」画面が表示されます。

5 ［▼］をクリックして「日本語」を選び、［OK］をクリックする

「ImageMixer用のInstallShieldウィザードへようこそ」画面が表示されます。

6 画面の指示に従って操作する

続けて指示に従って「ImageMixer」と「WinCDR Lite for Data」のインストールを行う。

インストール完了後、DirectXの「情報」画面が表示された場合は、画面の指示に従ってインストールし、再起動してください。その後、手順8に進んでください。

7 画面の指示に従って再起動する

8 パソコンからCD-ROMを取り出す

Macintoshの場合

1 パソコンの電源を入れる。

2 付属のCD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットする。
機種選択画面が表示されます。

3 機種選択画面の中の「Cyber-shot」をクリックする。

4 インストールメニュー画面の中の「ImageMixer」をクリックする。

5 リストボックスから［日本語］を選択し、［Install］ボタンをクリックする。

6 画面の指示に従って操作する。
インストール画面の「完了」ボタンをクリックしてインストール画面を閉じてください。

7 （終了ボタン）をクリックしてタイトル画面を閉じる。

8 パソコンからCD-ROMを取り出す。

「ImageMixer」で画像を取り込む

「ImageMixer Ver.1.5 for Sony」を使って、本機からパソコンに画像を取り込みます。

操作の前に

60〜61ページの操作を行い、本機とパソコンを付属のUSBケーブルでつなぎ、本機を準備してください。

- 「ImageMixer」の使いかたについて詳しくは、画面右上の ? をクリックして、ヘルプをご覧ください。

Windowsの場合

ここでは、「マイドキュメント」フォルダに画像をコピーします。

1 「ImageMixer」を起動する

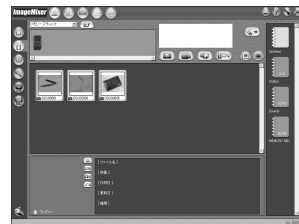
デスクトップ画面上の(ImageMixer Ver.1.5 for Sony)をダブルクリックします。
「ImageMixer」が起動し、メイン画面が表示されます。

2 をクリックする

画像を取り込むための画面が表示されます。

3 画像をパソコンに取り込む

① 画面左上のをクリックする。

② 画面左上のをクリックする。
“ メモリースティック ”内の画像が一覧表示されます。

③ 画面右上のをクリックする。
「入力の環境設定」画面が表示されます。

画像をパソコンに取り込む

④「入力モード保存先の設定」で［参照］をクリックし、表示される「フォルダの参照」画面で［マイドキュメント］をクリックして、［OK］をクリックする。

⑤ OK をクリックする。

⑥画面右上のをクリックする。

⑦パソコンに取り込む画像をクリックし、画面右上のをクリックする。
画像がパソコンに取り込まれます。

- 画像をにドラッグ＆ドロップすることもできます。

Macintoshの場合

1「ImageMixer」を起動する。

2 をクリックする。

3 画像をパソコンに取り込む

①画面左上のをクリックする。

②画面左上のをクリックする。
“メモリースティック”内の画像が一覧表示されます。

③画面右上のをクリックする。
「入力の環境設定」画面が表示されます。

④「入力モード保存先の設定」で［参照］をクリックし、画像の保存先を選び、［OK］をクリックする。

⑤ OK をクリックする。

⑥画面右上のをクリックする。

⑦パソコンに取り込む画像をクリックし、画面右上のをクリックする。
画像がパソコンに取り込まれます。

- 画像をにドラッグ＆ドロップすることもできます。

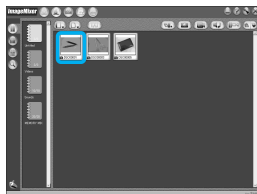
「ImageMixer」で画像を見る

77、78ページでパソコンに取り込んだ画像を「ImageMixer Ver.1.5 for Sony」を使って見ます。

- 「ImageMixer」を使うと、取り込んだ画像を編集することもできます。詳しくは、画面右上の ? をクリックして、ヘルプをご覧ください。

Windowsの場合

1 をクリックする

画像を見るための画面が表示されます。

2 表示したい画像をダブルクリックする

選んだ画像が表示されます。

動画を再生するには(►)、再生を停止するには(■)をクリックします。

前の画面に戻るには

画面右上の をクリックします。

Macintoshの場合

1 をクリックする。

2 表示したい画像をダブルクリックする。
選んだ画像が表示されます。

前の画面に戻るには

画面右上の をクリックします。

「ImageMixer」で画像を印刷する

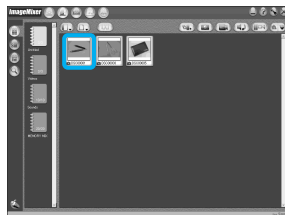
「ImageMixer Ver.1.5 for Sony」で開いた画像をプリンタで印刷します。
あらかじめプリンタとパソコンを接続し、両方の機器の電源を入れておきます。
プリンタの接続や設定などについて詳しくは、プリンタに付属の取扱説明書をご覧ください。

- 動画の場合は先頭のシーンが印刷の対象となります。

Windowsの場合

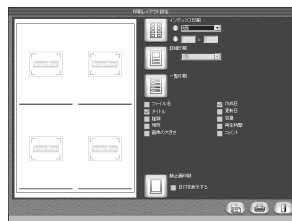
1 画像を表示する

79ページの手順1の操作を行ってください。

2 印刷したい画像をクリックする

3 をクリックして表示されるメニューから［印刷］をクリックする

「印刷レイアウト設定」画面が表示されます。

4 レイアウトを設定する

お好みに応じて設定してください。

通常は画面下の をクリックします。

5 用紙の設定をする

① 画面右下の をクリックする。
「プリンタの設定」画面が表示されます。

② 用紙のサイズや印刷の向きを設定し、［OK］をクリックする。

6 印刷する

①画面右下の をクリックする。
「印刷」画面が表示されます。

②［OK］をクリックする。

画像が印刷されます。

印刷できないときは

プリンタの接続や設定が正しいかどうか確認してください。詳しくは、お使いのプリンタに付属の取扱説明書をご覧ください。

- 印刷する画像サイズ、パソコン環境などによっては、印刷に時間がかかることがあります。

Macintoshの場合

1 画像を表示する。

2 印刷したい画像をクリックする。

3 をクリックして表示されるメニューから［印刷］をクリックする。
「印刷レイアウト設定」画面が表示されます。

4 レイアウトを設定する。
通常は画面下の をクリックします。

5 をクリックする。
「プリンタの設定」画面が表示されます。

6 用紙のサイズや印刷の向きを設定し、［OK］をクリックする。

7 をクリックする。
「印刷」画面が表示されます。

8［プリント］をクリックする。
画像が印刷されます。

「ImageMixer」でビデオCDを作成する

「ImageMixer Ver.1.5 for Sony」を使ってビデオCDを作成することができます。作成したビデオCDは、ビデオCD対応のDVDプレーヤーで再生できます。パソコンをご利用の場合は、ビデオCD対応のアプリケーションソフトで再生できます。

1 「ImageMixer」を起動する

2 をクリックする

ビデオディスク作成モードが起動します。

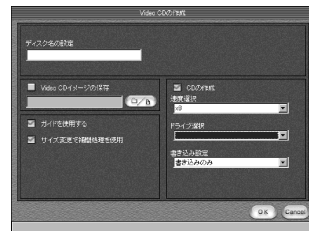
3 ファイルやアルバムをメニュー画面にドラッグ&ドロップする

メニュー画面に画像が追加されます。

4 をクリックする

プレビューを行うこともできます。

5 をクリックする

ディスク作成のダイアログが表示されます。

6 CD-Rドライブに新しいCD-Rを入れて［OK］ボタンをクリックする

ディスクの作成が始まります。

- CD-RWはお使いになれません。
- ビデオCDの作成にはCD-Rドライブが必要です。

Macintosh版について

- ビデオCDのライティングを行うにはRoxio社のToast（別売り）が必要です。
- プレビューの表示で動画ファイルの再生時間が短くなることがあります。

故障かな？と思ったら

困ったときは、下記の流れに従ってください。

1 83～91ページの項目をチェックし、本機を点検する

液晶画面に「C：□□：□□」のような表示が出たときは自己診断表示機能が働いています。92ページをご覧ください。

2 防水ふたを開け、RESETボタンを先の細いもので押してから、防水ふたを閉じて電源を入れる
（この操作を行うと、日時などの設定は解除されます）

3 デジタルイメージングカスタマーサポートのホームページで確認する
http://www.sony.co.jp/support-di/

4 テクニカルインフォメーションセンターに電話で問い合わせる（裏表紙）

電池・電源

症状	原因	処置
電池の残量表示が正しくない。または電池残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる。	• 温度が極端に低いところで使用している。 • 電池が消耗している。 • 電池の電極、または内ふたの端子部が汚れている。 • 電池にメモリー効果が発生している（17ページ）。 • 電池そのものの寿命（101ページ）。	— ➔ 充電された電池を取り付ける（16ページ）。 ➔ 電池の電極と内ふたの電池端子部の汚れを乾いた布などで拭き取る（17ページ）。 ➔ 電池を使いきってから充電することで正常に戻ります。 ➔ 新しい電池と交換する。
電池の消耗が早い。	• 温度が極端に低いところで撮影／再生している。 • 充電が不充分。 • 電池そのものの寿命（101ページ）。	— ➔ 充電する（16ページ）。 ➔ 新しい電池と交換する。

電池・電源（つづき）

症状	原因	処置
電源が入らない。	● 電池が正しく取り付けられていない。 ● 電池が消耗している。 ● 電池そのものの寿命（101ページ）。	→ 電池を正しく取り付ける（18ページ）。 → 充電された電池を取り付ける（16ページ）。 → 新しい電池と交換する。
電源が途中で切れる。	● 操作しない状態が3分以上続くと、電池の消耗を防ぐため、自動的に電源が切れる（21ページ）。 ● 電池が消耗している。	→ 電源を入れ直す（21ページ）。 → 充電された電池を取り付ける（16ページ）。

静止画／動画を撮る

症状	原因	処置
液晶画面に被写体が写らない。	● モードスイッチが「▶」になっている。	→ モードスイッチを「📷」または「🎞」にする（28、49ページ）。
フォーカスが合わない。	● 被写体が近すぎる。 ● 静止画撮影時、シーンセレクションの（アクティブアウトドアモード）、（イルミネーションスナップモード）、（夜景モード）または（ビビッドネイチャーモード）が選ばれている。 ● 被写体までの距離が1m以内で動画を撮影している。 ● フォーカスプリセットになっている。	→ 最短撮影距離の10 cm（水中では15 cm）よりもカメラを離して撮影する（37ページ）。 → シーンセレクションを解除する（36ページ）。 → フォーカスプリセットにする（37ページ）。 → ［フォーカス］を［オート］にする（38ページ）。
画像が暗い。	● 液晶画面が暗い。	→ ［LCDライト］を［入］にする（29、95ページ）。
画像が明るい。	● 液晶画面が明るい。	→ ［LCDライト］を［切］にする（29、95ページ）。

症状	原因	処置
画像が白黒になる。	● ピクチャーエフェクトが［モノトーン］になっている。	→ 解除する（40ページ）。
明るい被写体を写すと、縦に尾を引いたような画像になる。	● スミアという現象。	→ 故障ではない。
撮影できない。	●“ メモリースティック ”が入っていない。	→“ メモリースティック ”を入れる（24ページ）。
	●“ メモリースティック ”の容量がない。	→“ メモリースティック ”内の画像を削除する（52ページ）、またはフォーマットする（53ページ）。 →“ メモリースティック ”を交換する。
	●“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。	→ 解除する（99ページ）。
	● フラッシュ充電中は撮影できない。	—
	● 静止画撮影時、モードスイッチが「📷」になっていない。	→ モードスイッチを「📷」にする（28ページ）。
	● 動画撮影時、モードスイッチが「🎞」になっていない。	→ モードスイッチを「🎞」にする（49ページ）。
フラッシュ撮影ができない。	● モードスイッチが「🎞」または「▶」になっている。	→ モードスイッチを「📷」にする（28ページ）。
	● 設定が⚡（発光禁止）になっている。	→ オート（表示なし）、👁（赤目軽減）または⚡（強制発光）にする（31ページ）。
	● 静止画撮影時、シーンセレクションの☽（夜景モード）または▲（ビビッドネイチャーモード）が選ばれている、または連写設定になっている。	→ その他のモードにする（26、35ページ）。
被写体の目が赤く写る。	—	→ 👁（赤目軽減）にする（31ページ）。
正しい撮影日時が記録されない。	● 日付・時刻が合っていない。	→ 日付・時刻を合わせる（22ページ）。

画像を見る

症状	原因	処置
再生できない。	● モードスイッチが「▶」になっていない。 ● パソコンでフォルダ／ファイルの名前を変更したり、画像を加工したものは本機で再生できない。 ● USBモードになっている。	→ モードスイッチを「▶」にする（42ページ）。 — → USB接続を終了する（67、69ページ）。
パソコンで再生できない。	—	→ 87ページをご覧ください。
拡大再生できない。	● 本機以外で作成、加工をしたファイルは拡大再生できない。	—
プリント予約マークがつかない。	● 動画にはプリント予約マークをつけられない。	—

画像を削除する

症状	原因	処置
削除できない。	●“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。	→ 誤消去防止スイッチを解除する（99ページ）。
誤って消してしまった。	● 一度削除した画像は元に戻せない。	→“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると、誤消去を防げます（99ページ）。

パソコン

パソコンとの接続方法や最新サポート情報はデジタルイメージングカスタマーサポートのホームページをご覧ください。

Digital Imaging Customer Support http://www.sony.co.jp/support-di/

症状	原因	処置
対応しているOSが分からない。	—	→「パソコンの推奨使用環境」を確認する（56ページ）。
USBドライバをインストールできない。	—	→ Windows 2000を使用している場合は、Administrator（管理者権限）でログオンする（57ページ）。
本機がパソコンに認識されない。	● 付属のUSBケーブルを使っていない。 ● USBケーブルがしっかり差し込まれていない。 ● メニューで［ ］の［USB］が［PTP］になっている。 ● パソコンのUSB端子に本機の他に機器が接続されている。 ● 本機がパソコン本体に直接接続されていない。 ● USBドライバがインストールされていない。 ● 付属のCD-ROMからUSBドライバをインストールする前に、USBケーブルで本機とパソコンを接続したため、デバイスが正しく認識されていない。	→ 付属のUSBケーブルを使う（61ページ）。 → 一度パソコンと本機からケーブルを抜いて、しっかりと差し込み、「USBモード」になっていることを確認する（61、69ページ）。 →［標準］にする（95ページ）。 → キーボード／マウス以外は取りはずす。 → USBハブ経由などで接続せずに、本機とパソコンを直接接続する。 → USBドライバをインストールする（57、69ページ）。 → 正しく認識されなかったデバイスを削除してから、USBドライバをインストールする（57、64、69ページ）。
USB接続時に電源が入らない。	● 本機がパソコン本体に直接接続されていない。 ●“メモリースティック”が入っていない。	→ USBハブ経由などで接続せずに、本機とパソコンを直接接続する。 →“メモリースティック”を入れる（24ページ）。

パソコン（つづき）

症状	原因	処置
画像をコピーできない。	• 本機とパソコンの接続が正しくない。 • お使いのOSによって手順が違う。 — —	→ 本機とパソコンを正しくUSB接続する（61ページ）。 → お使いのOSに対応した手順でコピーする（62、65、69ページ）。 →「Image Transfer」ソフトウェアをお使いの場合は、73ページをご覧ください。 →「ImageMixer Ver.1.5 for Sony」ソフトウェアをお使いの場合は、77ページをご覧になるか、ヘルプをご覧ください。
USB接続をしたときに「Image Transfer」が自動起動しない。	— —	→「Image Transfer」を「自動的に起動する」に設定する（74ページ）。 → パソコンの電源を入れた状態でUSB接続をする（73ページ）。
画像を再生できない。	— —	→「ImageMixer Ver.1.5 for Sony」ソフトウェアをお使いの場合は、79ページをご覧になるか、ヘルプをご覧ください。 → パソコンメーカーまたはソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
動画を再生すると画像が途切れる。	•“メモリースティック”から直接再生している。	→ パソコンのハードディスクに動画をコピーして、ハードディスクのファイルを再生する（73、77ページ）。
画像を印刷できない。	— —	→ お使いのプリンターの設定を確認してください。 → 80ページをご覧になるか、「ImageMixer Ver.1.5 for Sony」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
付属のCD-ROMをパソコンにセットするとエラーメッセージが表示される。	• パソコンのディスプレイの設定が正しくない。	→ パソコンのディスプレイの設定を以下のようにする。 Windowsの場合：800×600ドット以上 High Color（16 bitカラー、65000色）以上 Macintoshの場合：800×600ドット以上 32000色モード以上

“ メモリースティック ”

症状	原因	処置
本機に入らない。	●“ メモリースティック ”を入れる向きが違っている。	→ 正しい向きにして入れる（24ページ）。
記録できない。	●“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。 ●“ メモリースティック ”の容量がいっぱいになっている。	→ 誤消去防止を解除する（99ページ）。 → 不要な画像を削除する（52ページ）。
フォーマットできない。	●“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。	→ 誤消去防止を解除する（99ページ）。
誤ってフォーマットしてしまった。	● フォーマットすると、他機でプロテクト（誤消去防止機能）をかけた画像を含め、“ メモリースティック ”内のすべてのデータが消去され、元に戻せない。	→“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると誤フォーマットを防げます（99ページ）。

その他

症状	原因	処置
操作を受け付けない。	● 電池が残り少ない（表示が出る）。 ● USB接続している。	→ 充電する（16ページ）。 → USBケーブルを抜く（67、69ページ）。
電源が入っているのに操作できない。	● 内部システムの誤動作。	→ 電池を取りはずし、約1分後再び電池を取り付け、電源を入れる。これでも操作できないときは、防水ふたを開けてRESETボタンを先の細いもので押してから、防水ふたを閉じて電源を入れる（83ページ）。（この操作をすると日時などの設定が解除される。）
液晶画面上の表示が分からない。	—	→ 表示の種類を確認する（107～109ページ）。
レンズ部がくもる。	● 結露している。	→ 電源を切って約1時間そのままにしてから使用する（98ページ）。

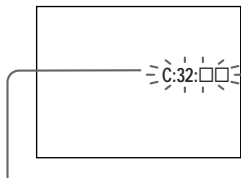
警告表示について

液晶画面には次のような表示が出ることがあります。

表示	意味／処置
メモリースティックがありません	●“ メモリースティック ”を入れてください（24ページ）。
システムエラー	● 電源を入れ直してください（21ページ）。
メモリースティックエラー	● 本機では使えない“ メモリースティック ”が入っている（99ページ）。 ●“ メモリースティック ”が壊れている。“メモリースティック”の端子部が汚れている。 ●“ メモリースティック ”を正しく入れてください（24ページ）。
非対応メモリースティックです	● 本機では使えない“ メモリースティック ”が入っている（99ページ）。
フォーマットエラー	●“ メモリースティック ”が正しくフォーマットされていない。フォーマットし直してください（53ページ）。
メモリースティックがロックされています	●“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。解除してください（99ページ）。
メモリースティックの残量がありません	●“ メモリースティック ”の空き容量が足りないので、記録ができない。不要な画像を削除してください（52ページ）。
このフォルダにはファイルがありません	● フォルダ内に画像が記録されていない。
フォルダエラー	● 上3桁の番号が同じフォルダが“ メモリースティック ”内にある（例：123MSDCFと123ABCDE）。別のフォルダを選択するかフォルダを作成してください。
これ以上フォルダ作成できません	● 上3桁の番号が「999」のフォルダが“ メモリースティック ”内にある。本機でこれ以上のフォルダを作成できません。
記録できません	● 本機で記録フォルダに設定できないフォルダを選択した。他のフォルダを選択してください（33ページ）。
ファイルエラー	● 画像再生時の異常。

表示	意味／処置
ファイルがプロテクトされています	• 他機で画像にプロテクトがかけられている。他機でプロテクトを解除してください。
画像サイズオーバーです	• 本機で再生できないサイズの画像を再生しようとしている。
無効な操作です	• 他機で作成したファイルにプリント予約マークをつけようとしている。
[illegible]	• 電池の残量が少ない。電池を充電してください（16ページ）。ご使用状況によっては、電池の残量が5分から10分でも点滅することがあります。
拡大再生できません	• 他機で作成したファイルを拡大再生しようとしている。 • パソコンで画像を加工したものは本機で拡大再生できない。 • 拡大再生時の異常。

自己診断表示 － アルファベットで始まる表示が出たら

本機には自己診断機能がついています。これは本機に異常が起きたときに液晶画面にアルファベットと4桁の数字でお知らせする機能です。表示によって、異常の内容が分かるようになっています。
詳しくは右の表をご覧になり、各表示に合った対応をしてください。表示の末尾2桁（□□）の数字は、本機の状態によって変わります。

自己診断表示

表示	原因	対応のしかた
C:32:□□	ハードウェアの異常。	● 電源を入れ直す（21ページ）。
C:13:□□	データが読めない／書けない。	●" メモリースティック "を数回抜き挿しする。
	フォーマットしていない" メモリースティック "を入れた。	● フォーマットする（53ページ）。
	本機では使えない" メモリースティック "を入れた。または、データが壊れている。	●" メモリースティック "を交換する（24ページ）。
E:61:□□ E:91:□□	何らかの異常が起きている。	● 防水ふたを開けてRESETボタン（83ページ）を押してから、防水ふたを閉じ電源を入れる。

「対応のしかた」を2、3度繰り返しても正常な状態に戻らないときは修理が必要な場合があります。テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。その際、表示の5桁のすべてをお知らせください。

メニュー項目について

モードスイッチの位置によって操作できる項目は変わります。
画面には、設定可能な項目のみが表示されます。
■印はお買い上げ時の設定です。

モードスイッチが「📷」で、メニューの[📷]を選択しているとき

項目	設定	意味
サイズ・連写	■2.0M／VGA／連写	静止画撮影時の画像サイズを選ぶ（26、38ページ）。
フォーカス	■オート／🌷0.2m／👤0.5m／👥1.0m／▲∞	オートフォーカスを選択したり、フォーカスプリセットで距離を設定する（37ページ）。
セルフタイマー	入／■切	セルフタイマーを設定する（30ページ）。
P.**エフェクト**	■切／ネガアート／セピア／モノトーン／ソラリ	画像の特殊効果を設定する（40ページ）。

モードスイッチが「🎞」で、メニューの[🎞]を選択しているとき

項目	設定	意味
フォーカス	■オート／🌷0.2m／👤0.5m／👥1.0m／▲∞	オートフォーカスを選択したり、フォーカスプリセットで距離を設定する（37ページ）。
セルフタイマー	入／■切	セルフタイマーを設定する（30ページ）。
P.**エフェクト**	■切／ネガアート／セピア／モノトーン／ソラリ	画像の特殊効果を設定する（40ページ）。

モードスイッチが「📷」または「🎞」で、メニューの[▭]を選択しているとき

項目	設定	意味
フォーマット	実行／キャンセル	“ メモリースティック ”をフォーマット（初期化）する。フォーマットすると他機でプロテクト（誤消去防止機能）をかけた画像を含め、“ メモリースティック ”に記録されているすべてのデータが消去されます。ご注意ください（53ページ）。
記録フォルダ作成	実行／キャンセル	新しいフォルダを作成する（32ページ）。
記録フォルダ変更	実行／キャンセル	画像を記録するフォルダを変更する（33ページ）。

モードスイッチが「▶」で、メニューの[▶]を選択しているとき

項目	設定	意味
削除	実行／キャンセル	選択中の画像の削除を実行する（52ページ）。
フォルダ内削除	実行／キャンセル	フォルダ内の全ての画像の削除を実行する（52ページ）。
4**枚表示**／1**枚表示**	―	4枚表示と1枚表示を切り換える（42ページ）。
DPOF	入／■切	プリント予約マークを付けたい／消したい静止画像を選ぶ（47ページ）。

モードスイッチが「▶」で、メニューの[▭]を選択しているとき

項目	設定	意味
フォーマット	実行／キャンセル	“ メモリースティック ”をフォーマット（初期化）する。フォーマットすると他機でプロテクト（誤消去防止機能）をかけた画像を含め、“ メモリースティック ”に記録されているすべてのデータが消去されます。ご注意ください（53ページ）。
再生フォルダ変更	実行／キャンセル	再生したい画像の入っているフォルダを選ぶ（44ページ）。

以下のメニューはモードスイッチのどの位置でも行えます。

メニューの[▭]を選択しているとき

項目	設定	意味
LCDライト	■入／切	液晶画面の明るさを選ぶ。周囲が暗い場所で使うときに[入]を選ぶと画面は明るく見やすくなるが、電池の消耗は早くなる（29ページ）。
画面表示	■入 切	– 表示可能なアイコンをすべて表示。 – 警告表示など表示。

メニューの[ ]を選択しているとき

項目	設定	意味
時計設定	表示設定 日時設定	– 日付の表示順を選ぶ（22ページ）。 ■[年／月／日]／[月／日／年]／[日／月／年] – 時計を合わせる（22ページ）。
ビープ音	■入 シャッター 切	– コントロールボタン／シャッターボタンを押したときなどに、ブザーが鳴る。 – シャッターボタンを押したとき、ブザーが鳴る。 – 音は鳴らない。
USB	■標準／PTP	USB接続方法を選ぶ（56ページ）。
A 言語	■日本語 ENGLISH	– メニュー項目／警告などを日本語で表示する。 – メニュー項目／警告などを英語で表示する。

使用上のご注意

置いてはいけない場所

- 異常に高温になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近く
  変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所

使用について

- 水気のある場所や砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所で防水ふたを開けないでください。水や砂などがカメラ内部に入ると、故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。
- 長時間使用しない場合は、時々電源を入れ、3分間ほど撮影したり再生するなどして、本機を動かしてください。
- バッテリーチャージャーを海外旅行者用の「電子式変圧器（トラベルコンバーター）」などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。

充電について

- 電池保護のため、充電が完了したら24時間以内にバッテリーチャージャーから電池を取りはずしてください。
- 周りの温度が10℃〜30℃での充電をおすすめします。

お手入れについて

液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やゴミがついて汚れたときは、別売りの液晶クリーニングキットを使ってきれいにすることをおすすめします。

レンズをきれいにする

レンズ部に指紋やゴミがついて汚れたときは、柔らかい布などを使ってきれいにすることをおすすめします。

表面のお手入れについて

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下はご使用にならないでください。

- シンナー
- ベンジン
- アルコール
- 化学ぞうきん
- 殺虫剤のような揮発性のもの
- ゴムやビニール製品との長時間の接触

水に濡れたあとは

- 本機についた水滴を清潔で乾燥した柔らかい布で拭き取ってください。
- 本機のすきまに水がたまっていると服やバックの中などを濡らす場合がありますので、ご注意ください。
- 寒冷地では本体に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因となりますので、ご注意ください。

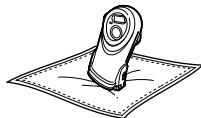
砂や泥、海水がついたときは

塩分などがついたままになっていると金属部分が傷ついたりさびついたりして水漏れの原因になることがあります。
防水ふたを開ける前に以下の手順でお手入れをしてください。水洗いには、30度以下の水道水を使用してください。

1 バケツなどに溜めた真水に浸して洗う

- ゴミ、砂や塩分がよく落ちるよう、本機を軽くゆすりながら洗った後、30分程度つけておいてください。
- 汚れがついたままレンズ部分、液晶画面をこすらないでください。表面にキズがつく恐れがあります。

2 本機を拭く

- 清潔で乾燥した柔らかい布で本機の水気を拭き取り、陰干しして乾燥させてください。
- 拭き取り切れなかった水が後から漏れてくる場合がありますので、柔らかい布の上に置いてください。

その他のご注意

- Oリングに泥などが付着したときや、本機を海水に付けたあとはOリングを取りはずして清掃、点検をしてください（104ページ）。
- サンオイルなどが付着したときは、水道水でよく洗い落としてください。付着したまま放置すると、表面の変色やダメージの原因になります。
- 洗濯機などで洗わないでください。
- 振り回して水切りしたり、ドライヤーなどで強制的に乾燥させたりしないでください。
- Oリング、またはOリング接合面の汚れがひどいときは、テクニカルインフォメーションセンター（裏表紙）へご相談ください。

保管するときは

高温、寒冷、多湿な場所や、ナフタリン、樟脳などを入れている場所での保管は機材をいためますので避けてください。

動作温度にご注意ください

本機の動作温度は約0℃〜40℃です。動作温度範囲を越える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。内部に水滴が付いた状態でお使いになると、故障の原因になります。

結露が起こりやすいのは

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- 湿度の高い暖かい場所から急に水中に入れたとき、など。

結露を起こりにくくするために

本機を寒いところから急に暖かい所に持ち込むときは、ビニール袋に本機を入れて、空気が入らないように密閉してください。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

結露が起きたときは

電源を切って結露がなくなるまで防水ふた、内ふたを開けた状態で約1時間放置し、結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側についた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

内蔵の充電式ボタン電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入／切に関係なく保持するために充電式ボタン電池を内蔵しています。
充電式ボタン電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し1か月程度まったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使用してください。
ただし、充電式ボタン電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことができます。

充電方法

充電された単4形ニッケル水素電池を取り付け、電源を切ったまま24時間以上放置する。

“ メモリースティック ”について

“ メモリースティック ”は、小さくて軽く、しかもフロッピーディスクより容量が大きい新世代のIC記録メディアです。“ メモリースティック ”対応機器間でデータをやりとりするのにお使いいただけるだけでなく、着脱可能な外部記録メディアの１つとしてデータの保存にもお使いいただけます。

“ メモリースティック ”には、一般の“ メモリースティック ”と、著作権保護技術（マジックゲート*）を搭載したタイプの“ メモリースティック ”があります。

本機ではマジックゲート搭載の“ メモリースティック ”と一般の“ メモリースティック ”のどちらもご使用いただけます。ただし、本機はマジックゲート規格に対応していないため、本機で記録したデータは著作権の保護の対象にはなりません。

また、本機では“ メモリースティックデュオ ”、“ メモリースティックPRO ”もご使用いただけます。

* “ マジックゲート ”とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。

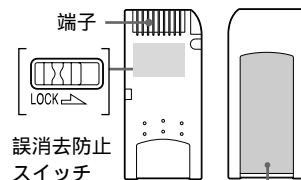
- パソコンでフォーマットした“ メモリースティック ”は、本機での動作を保証しません。

“ メモリースティック ”の種類	記録／再生
メモリースティック（メモリースティック　デュオ）	○
マジックゲートメモリースティック（マジックゲートメモリースティック　デュオ）	○**
メモリースティック　PRO	○**

** マジックゲート機能が必要なデータの記録／再生はできません。

すべてのメモリースティック・メディアの動作を保証するものではありません。

“ メモリースティック ”（付属）使用上のご注意

- 誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると記録や編集、消去ができません。

誤消去防止スイッチの位置や形状は、お使いの“ メモリースティック ”によって異なることがあります。

- データの読み込み中、書き込み中には“ メモリースティック ”を取り出さないでください。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  - 読み込み中、書き込み中に“ メモリースティック ”を取り出したり、本機の電源を切った場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合

その他

- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- ラベル貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。
- ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部に貼ってください。はみ出さないようにご注意ください。
- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水に濡らさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  – 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所
  – 直射日光のあたる場所
  – 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

“ メモリースティック　デュオ ”（別売り）使用上のご注意

- “ メモリースティック　デュオ ”を本機でお使いの場合は、必ず“ メモリースティック　デュオ ”をメモリースティック　デュオ　アダプターに入れてからお使いください。
- “ メモリースティック　デュオ ”をメモリースティック　デュオ　アダプターに入れるときは正しい挿入方向をご確認ください。
- “ メモリースティック　デュオ ”をメモリースティック　デュオ　アダプターに装着して本機でご使用になるときは、正しい挿入方向をご確認の上ご使用ください。間違ったご使用は機器の破損の原因となりますのでご注意ください。
- メモリースティック　デュオ　アダプターに“ メモリースティック　デュオ ”が装着されていない状態で、“ メモリースティック ”対応機器に挿入しないでください。このような使い方をすると、機器に不具合が生じることがあります。

“ メモリースティック　PRO ”（別売り）使用上のご注意

- 本機で動作確認されている“ メモリースティック　PRO ”は1GBまでです。

ニッケル水素電池について

電池の上手な使いかた

- 周囲の温度が低いと電池の性能が低下するため、使用できる時間が短くなります。より長い時間ご使用いただくために、電池を付属のバッテリーケースに収納した状態でポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前、本機に取り付けることをおすすめします。
- [LCDライト] を [切] にすると、電池を長持ちさせることができます。
- フラッシュ撮影などを頻繁にすると、電池の消耗が早くなります。
- 撮影には予定撮影時間の2〜3倍の予備電池を準備して、事前に試し撮りをしてください。
- 電池は防水構造ではありません。水などに濡らさないようにご注意ください。

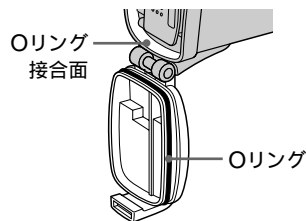
電池の寿命について

- 電池には寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれ電池の容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境により異なります。

バッテリーチャージャーについて

- 付属のバッテリーチャージャーで、ソニーニッケル水素電池以外の電池は充電しないでください。指定以外の電池（マンガン乾電池、アルカリ乾電池、1次リチウム電池、ニカド電池など）を充電すると、電池の液漏れ、発熱、破裂の原因となり、やけどやけがをする恐れがあります。
- 充電したニッケル水素電池を連続して充電しないでください。電池の液漏れ、発熱、破裂、感電の原因になります。
- 付属のニッケル水素電池以外の高容量電池を、付属のバッテリーチャージャーで充電した場合、表示の容量を得ることができないことがあります。
- CHARGEランプが点滅した場合は、電池の異常、または指定以外の電池が挿入された場合が考えられます。指定の電池かどうか確認してください。また、指定の電池を挿入している場合は、一旦電池を全部抜き、新品電池など別の電池を挿入してバッテリーチャージャーが正常に動作するか確認してください。バッテリーチャージャーが正常に動作する場合は電池の異常が考えられます。
- バッテリーチャージャーは防水仕様ではありません。水などに濡らさないようご注意ください。

Oリングについて

Oリング（オーリング）は、水中カメラや時計、ダイビング機器などに使われている防水パッキンの一種です。本機では、防水ふたの部分に使われています。

お使いになる前に

本機を水中や水気のある場所でご使用になる前には、必ずOリングとOリング接合面の点検をしてください。
OリングやOリング接合面にゴミの付着や異常などがあると、カメラ内部に水が入り修理不能となる場合もあります。

OリングとOリング接合面を点検する

OリングとOリング接合面の点検は、砂やほこり、水気のない場所で行ってください。

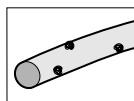
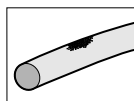
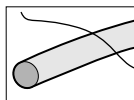
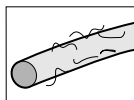
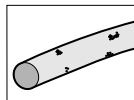
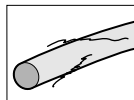
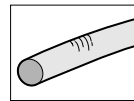
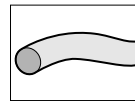
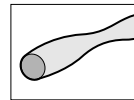
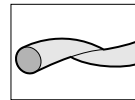
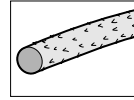
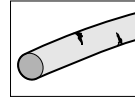
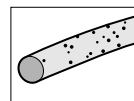
1　防水ふたを開ける前に、本体についた砂を洗い流し、水分をよく拭き取る

- カメラ内部に砂や水が入ると、故障の原因となりますのでご注意ください。

2　防水ふたを開ける

- 防水ふたの開閉のしかたについては、18ページをご覧ください。

3　OリングとOリング接合面を点検する

- ゴミ、砂粒、毛髪、ほこり、塩、糸くずなどが付着していたら、繊維の残らない柔らかい布などで必ず取り除いてください。髪の毛1本などの付着でも、水漏れの原因となることがあります。

- 目に見えないゴミなどが付着していることもあるので、指先でなぞって点検してください。
- Oリングに付着したゴミや汚れを拭き取る際、布の繊維が残らないように気をつけてください。
- Oリングに付着したゴミや汚れが拭き取りにくいときは、Oリングを取りはずして水洗いしてください。
- Oリングにヒビ割れ、ゆがみ、つぶれ、ねじれ、ささくれ、キズ、砂かみなどがないか確認し、ある場合は必ず交換してください。

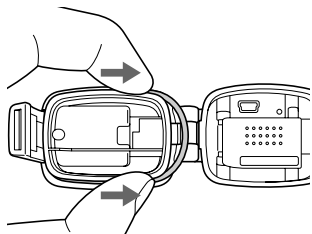
4　防水ふたを閉じる

5　防水ふたのロックスイッチをかける

Oリングを取りはずす／取りつける

Oリングの交換や清掃、点検などでOリングを取りはずすときは、以下の点にご注意ください。
Oリングに泥などが付着したときや、本機を海水に付けたあとには必ずOリングを取りはずして清掃、点検をしてください。

Oリングを取りはずす

Oリングを軽く押さえながらずらし、たるんだ部分をつまんで取り出します。

- 先のとがったものや金属などでOリングを外さないでください。Oリングや Oリング接合面にキズがつくと水漏れの原因となります。
- Oリングを無理に引っ張らないでください。

Oリングと溝のお手入れ

- 外したOリングを洗うときは30℃以下の水道水を使用し、よく水気を切ってください。
- Oリングは特殊加工されていますのでグリスを塗ったり、オイルがついたりしないようにご注意ください。
- Oリングの溝に砂粒や乾いて固まった塩が入り込んでいる場合には、綿棒などを使って丁寧に取り除いてください。綿棒などの糸くずが残らないようにご注意ください。
- 先のとがったものや金属などは、溝にキズがつく恐れがありますので清掃には使用しないでください。

Oリングを取りつける

以下の点に注意して、Oリングを溝に入れてください。

- Oリングを無理に引っ張らないでください。
- 取りつけたあと、以下の不具合がないか最終チェックをしてください。
  ーOリングに水滴が残っていないか。
  ーOリングがねじれていないか。
  ーOリングにゴミなどが付着していないか。
  ーOリングが溝からはみ出していないか。

Oリングの寿命について

- Oリングにヒビ割れやゆがみ、つぶれ、ねじれ、ささくれ、キズ、砂かみなどの状態がでたら、新しいものと交換してください。異常がなくても変形や摩擦により防水性能は落ちてきますので、2年程度使用したら新しいものと交換してください。
- Oリングは、お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口でお求めいただけます。お求めの際には、下記の番号をお申し付けください。
  3-081-956-□□

主な仕様

■ 本体

[システム]

撮像素子 6.72 mm（1/2.7型）カラーCCD
原色フィルター

総画素数 約2 112 000画素

カメラ有効画素数
約2 020 000画素

レンズ 単焦点レンズ
f=5.0 mm（35 mmカメラ換算では33 mm）、F2.8

露出制御 自動、シーンセレクション（6モード）

記録方式 静止画：DCF準拠（Exif Ver.2.2 JPEG準拠）、DPOF対応
動画：MPEG1準拠（音声なし）

記録メディア
“メモリースティック”

フラッシュ 推奨撮影距離：0.5〜1.9 m

[出力端子]

USB端子 mini-B

[液晶画面]

液晶パネル 2.5 cm（1.0型）TFT駆動

総ドット数 64 460（293×220）ドット

[電源・その他]

電源 単4形ニッケル水素電池（2本）、2.4 V
5 V（USBケーブルより供給）

消費電力（撮影時）
1.35 W

動作温度 0°C〜+40°C

保存温度 –20°C〜+60°C

外形寸法 60.2×116.8×43.3 mm（幅×高さ×奥行、最大突起部含まず）

本体質量 約191 g（電池2本、“メモリースティック”、ハンドストラップなど含む）

Exif Print　対応

PRINT Image Matching II　対応

■ Ni-MHバッテリーチャージャー BC-CS2A/CS2B

定格入力 AC 100〜240 V 50/60 Hz、3W

定格出力 単3形：DC1.4 V、400 mA×2
単4形：DC1.4 V、160 mA×2

使用温度 0°C〜＋40°C

保存温度 –20°C〜＋60°C

最大外形寸法 約71×30×91 mm（幅×高さ×奥行）

本体質量 約90g

付属品

- 単4形ニッケル水素電池
- バッテリーケース
- Ni-MHバッテリーチャージャー BC-CS2A/CS2B
- 電源コード
- USBケーブル
- ハンドストラップ
- “ メモリースティック ”（8 MB）
- CD-ROM（USBドライバSPVD-010）
- サイバーショット取扱説明書
- 保証書

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

必ずお読みください

記録内容の補償はできません

万一、デジタルスチルカメラや“メモリースティック”などの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このデジタルスチルカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

“故障かな？と思ったら”の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは

テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

部品の保有期間について

当社はデジタルスチルカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

画面上の表示

静止画撮影時

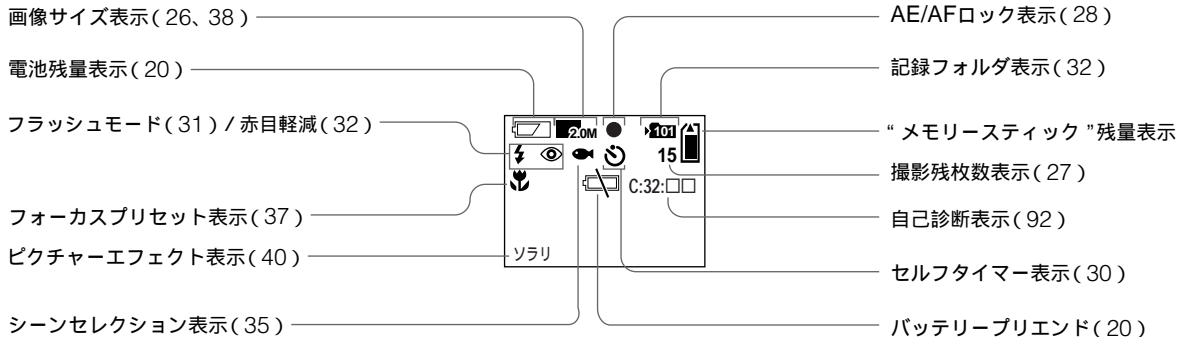
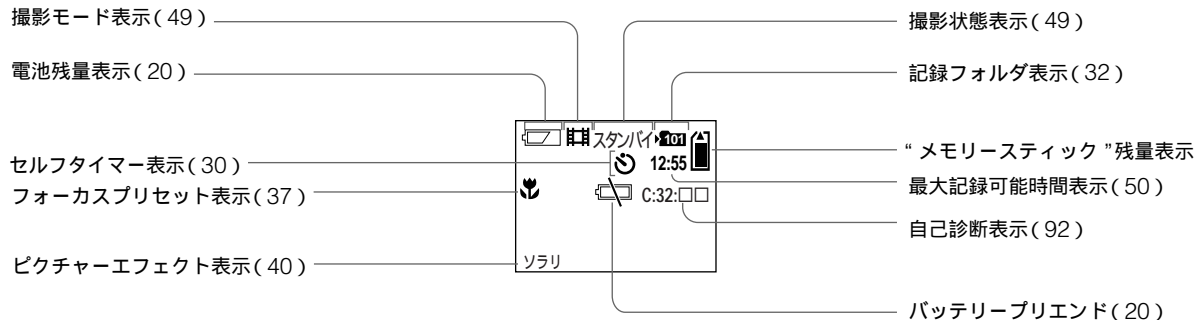
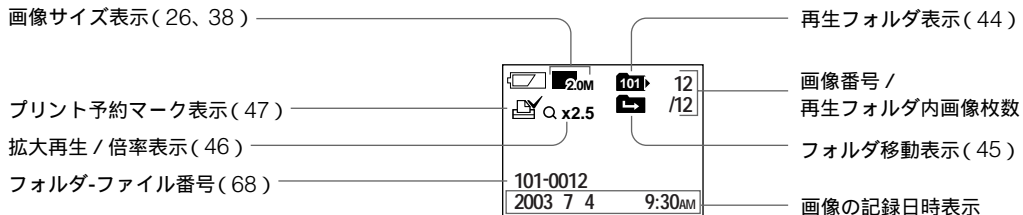
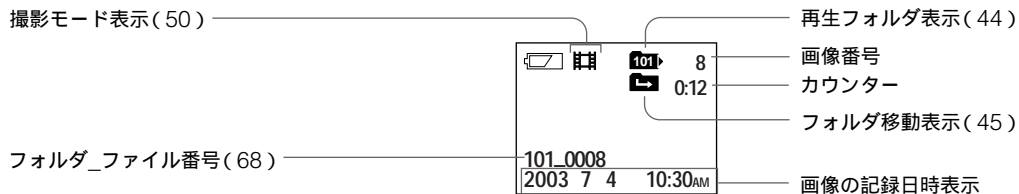
動画撮影時

撮影モード表示（49）
電池残量表示（20）
セルフタイマー表示（30）
フォーカスプリセット表示（37）
ピクチャーエフェクト表示（40）
撮影状態表示（49）
記録フォルダ表示（32）
“メモリースティック”残量表示
最大記録可能時間表示（50）
自己診断表示（92）
バッテリープリエンド（20）
スタンバイ
101
12:55
C:32:□□
ソラリ

静止画再生時

動画再生時

その他

用語の解説

インストール（57、70、75ページ）
ソフトウェアなどをコンピュータにコピーして組み込むことです。

オートパワーオフ機能（21ページ）
本機の電源を入れたまま約3分間操作をしないと、バッテリーの消耗を防ぐため、本機の電源を自動的に切る機能のことです。

ドライバ（57ページ）
どのような周辺機器がどのように接続されているかをコンピュータ側に知らせ、周辺機器を正しく動かすために必要なソフトウェアのことです。

半押し（28ページ）
シャッターを押し込まず、半分押した状態にしておくことです。シャッターを半押しすると、撮影状況に合わせてピントと露出を自動で調整します。

ピント（28ページ）
被写体に対する焦点のことです。本機はピントを自動で調整しますが、撮影距離を設定して撮影することもできます。

フォーマット（53ページ）
「初期化」とも言います。記録メディアにデータを書き込めるようにすることです。フォーマットすると、記録メディアに保存されているデータはすべて消えます。

フォルダ（32、44ページ）
本機で撮影した画像をまとめて格納する場所のことです。ファイルを分類するときに便利です。

"メモリースティック"（99ページ）
小さくて軽く、フロッピーディスクより容量が大きい新世代のIC記録メディアです。

有効画素数（105ページ）
CCDが光から電気信号に変換できる画素数です。有効画素数から画像処理をしたものが記録画素数になります。

AE（28ページ）
「Auto Exposure」の略です。
被写体の明るさをカメラが判断して、自動で露出を決める機能のことです。

AF（28ページ）
「Auto Focus」の略で、カメラが自動でピントを合わせる機能のことです。

CCD（105ページ）
「Charge Coupled Device」の略で、光を電気信号に変換する半導体の一種のことです。

DCF（11ページ）
「Design rule for Camera File system」の略で、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で制定された統一規格のことです。

DPOF（47ページ）
「Digital Print Order Format」の略で、「ディーポフ」と読みます。プリント予約したい写真を記録メディア上に指定することができます。

Exif（105ページ）
（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる静止画用のファイルフォーマットです。

JPEG（68ページ）
「ジェイペグ」と読みます。インターネットで扱う代表的なカラーの静止画を圧縮する形式のことです。本機では、通常の静止画撮影時、JPEG形式で画像を保存します。

MPEG（68ページ）
「エムペグ」と読みます。カラー動画像の圧縮方式のひとつで、品質の良い画像や高い圧縮形式が得られます。本機では、動画撮影時、MPEG形式で画像を保存します。

Oリング（102ページ）
「オーリング」と読みます。水中カメラやダイビング機器などに使われている防水パッキンの一種です。

OS（55ページ）
「Operating System」の略で、コンピュータ全体を管理し、コンピュータを操作するのに必要な基本ソフトウェアのことです。

PTP（56、95ページ）
「Picture Transfer Protocol」の略です。パソコンに画像データを簡単にコピーできる接続方法のことです。

USB（55、57、69ページ）
「Universal Serial Bus」の略です。キーボードやマウスなどのパソコンの周辺機器を接続するための規格のことです。

USBバス電源供給（56、60ページ）
USB接続したパソコンから、周辺機器に電源を供給できる機能のことです。

VGA（27ページ）
「Video Graphics Array」の略で
640×480の画像サイズのことです。

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

アルファベット

電話のおかけ間違いに
ご注意ください。

お客様へのサポートをより充実させていくため、「カスタマーご登録」をお勧めしています。
詳しくは同梱の「デジタルイメージングカスタマーご登録のお勧め」をご覧ください。

■ カスタマーご登録およびご登録内容の変更：
http://www.sony.co.jp/di-regi/
お問い合わせ：**ソニーマーケティング（株）カスタマー専用デスク**
電話：0466-38-1410
受付時間：**月～金曜日　午前10時～午後6時**（ただし、年末、年始、祝日を除く）

お問い合わせ窓口のご案内

ご使用上での不明な点や技術的なご質問

テクニカルインフォメーションセンター
電話：　0564-62-4979
（電話のおかけ間違いにご注意ください。）
受付時間：月～金曜日　午前9時～午後5時
（ただし、年末、年始、祝日を除く）
お電話の前に以下の内容をご用意ください。
①お客様のID
（カスタマーご登録していただくとIDが発行されます。）
②本機の型名（本機底面をご覧ください。）
③本機の製造番号（本機底面をご覧ください。）

パソコンとの接続方法や最新サポート情報

デジタルイメージングカスタマーサポート
http://www.sony.co.jp/support-di/

ImageMixer for Sonyに関するお問い合わせ窓口

ピクセラユーザーサポートセンター
電話：　072-224-0181
受付時間：月～日曜日
午前9時～午後5時
（ただし、年末、年始、祝日を除く）
http://www.imagemixer.com

修理申し込み

製品の品質には万全を期しておりますが、万一不具合が生じた場合左記のテクニカルインフォメーションセンターへお電話ください。
お客様のお宅まで指定宅配便で取りにおうかがいします。

この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35

http://www.sony.co.jp/

サイバーショットオフィシャルWEBサイト
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/
サイバーショット、マビカの最新情報を掲載。
撮影方法やアクセサリー情報、
パソコン接続に関する情報を掲載しています。

307872401